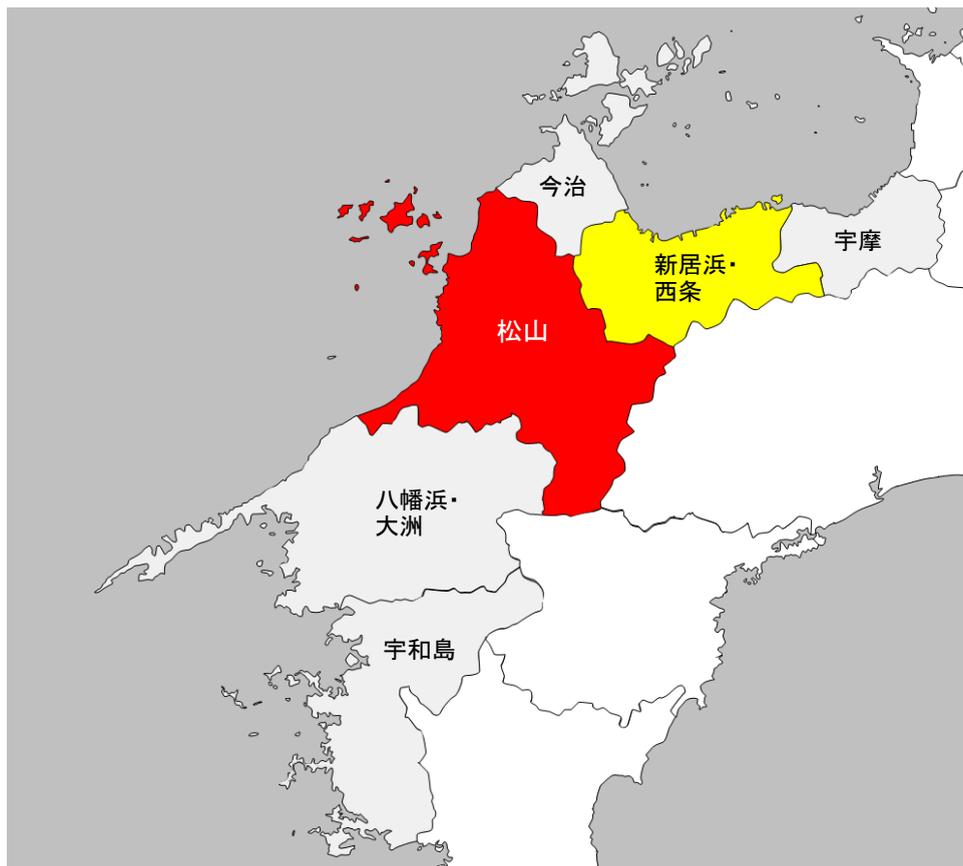


38. 愛媛県

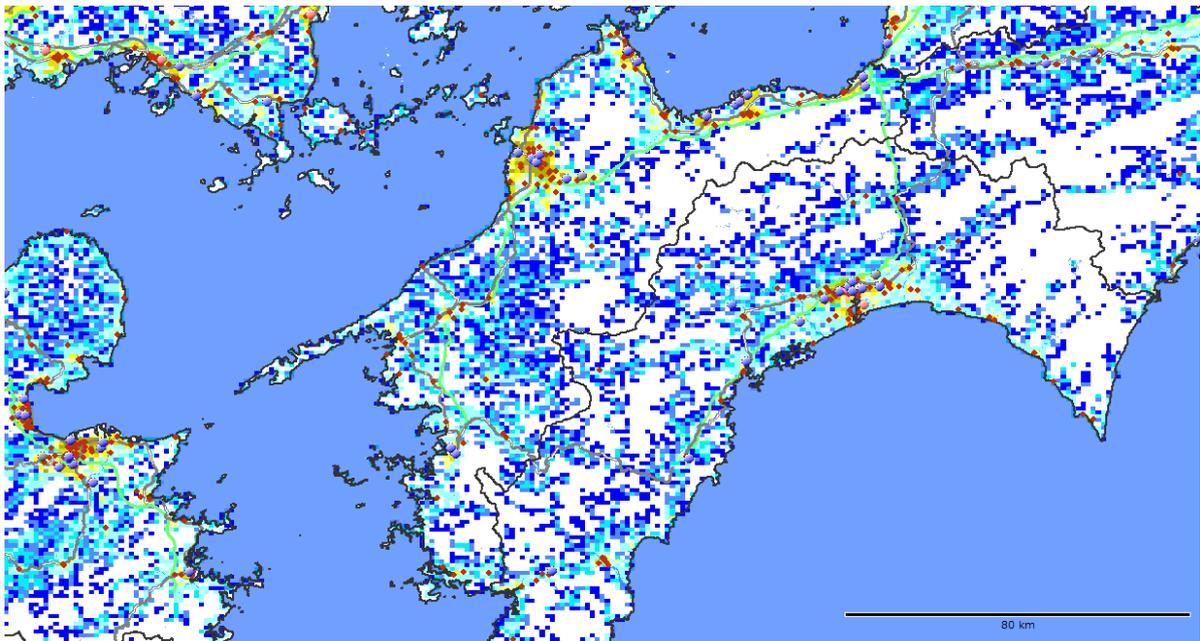


目次

愛媛県	38	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	38	-	8
1. 宇摩医療圏	38	-	20
2. 新居浜・西条医療圏	38	-	25
3. 今治医療圏	38	-	30
4. 松山医療圏	38	-	35
5. 八幡浜・大洲医療圏	38	-	40
6. 宇和島医療圏	38	-	45

38. 愛媛県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(愛媛県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 愛媛県は、総人口約1,385千人(2015年)、面積5,676km²、人口密度は244人/km²である。

*人口の将来予測： 愛媛県の総人口は2025年に1,274千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に1,081千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の217千人が、2025年にかけて265千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には262千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 愛媛県の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値58)、介護給付費は290千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 愛媛県の一人当たり急性期医療密度指数は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は1.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が52(病院医師数51、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 愛媛県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26,163人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が13,370床(偏差値50)、高齢者住宅等が12,793床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、20,151人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム49、軽費ホーム56、グループホーム69、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、3,399人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

愛媛県の総人口は、2005年1,467,815人が、2015年に1,385,262人と6%減少し、2025年の人口が1,274,128人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

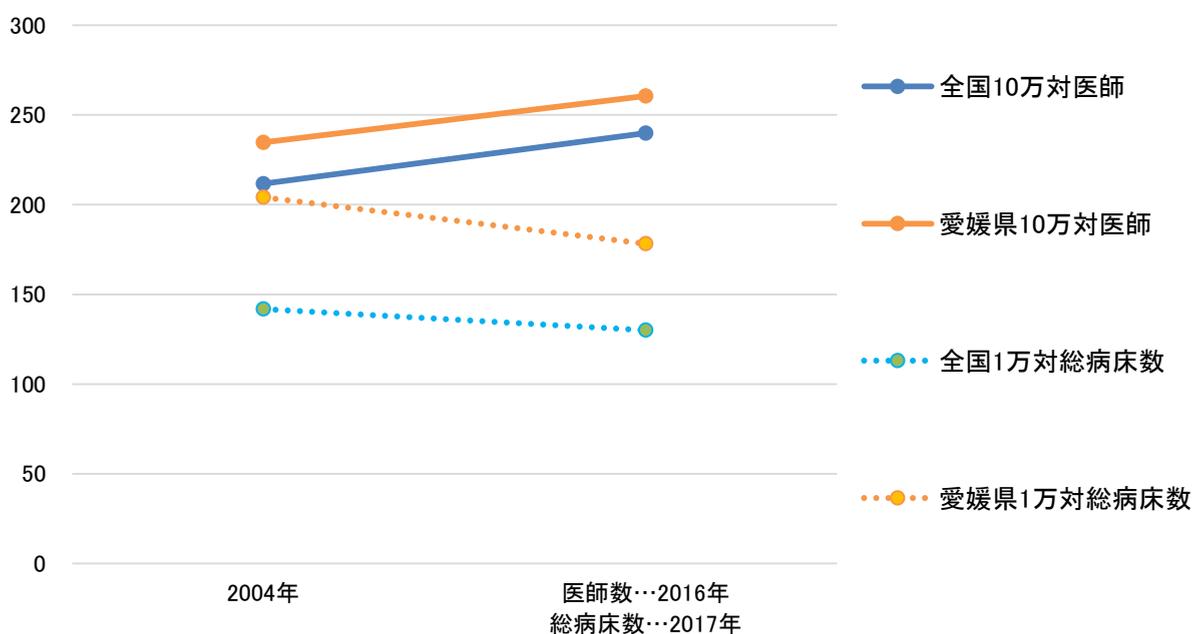
2004年の病院数が155(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に141(人口10万人当たり10.2病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、13年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1,209(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に1,245(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、36診療所が増加した。

2004年の総病床数が29,963床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に24,691床(人口1万人当たり178(全国平均130)偏差値59)と、5,272床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

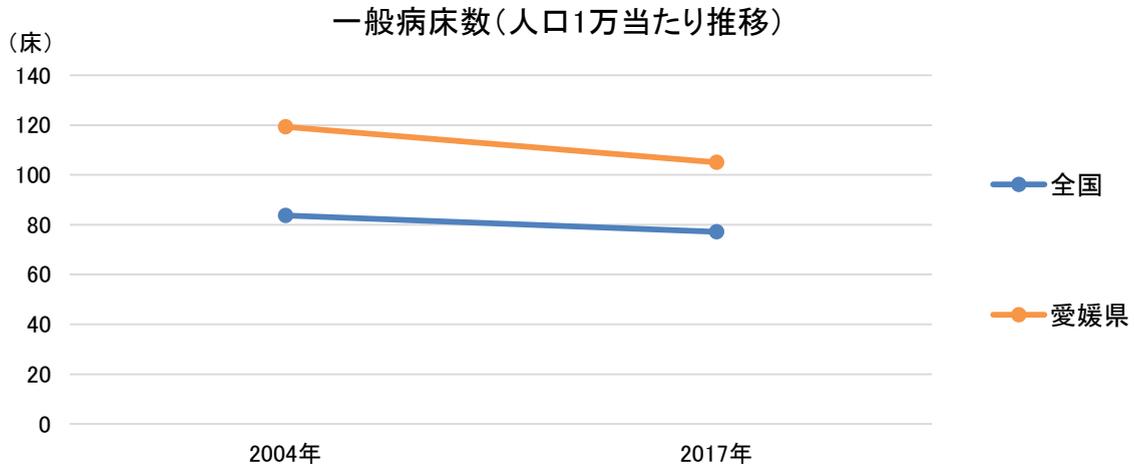
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,444人(人口10万人当たり235人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に3,609人(人口10万人当たり261人(全国平均240人)偏差値52)と、165人の増加、率にして5%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



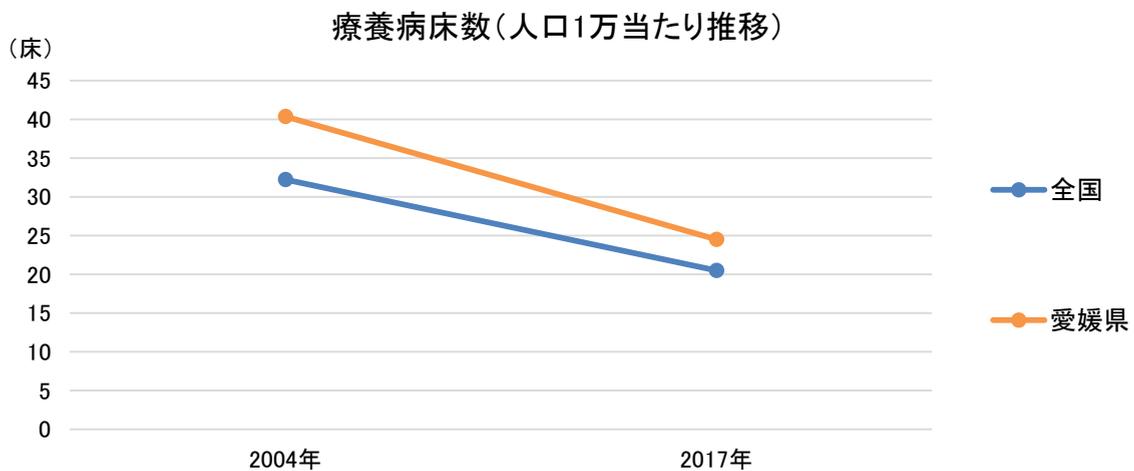
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,519床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2017年に14,559床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、2,960床の減少、率にして17%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



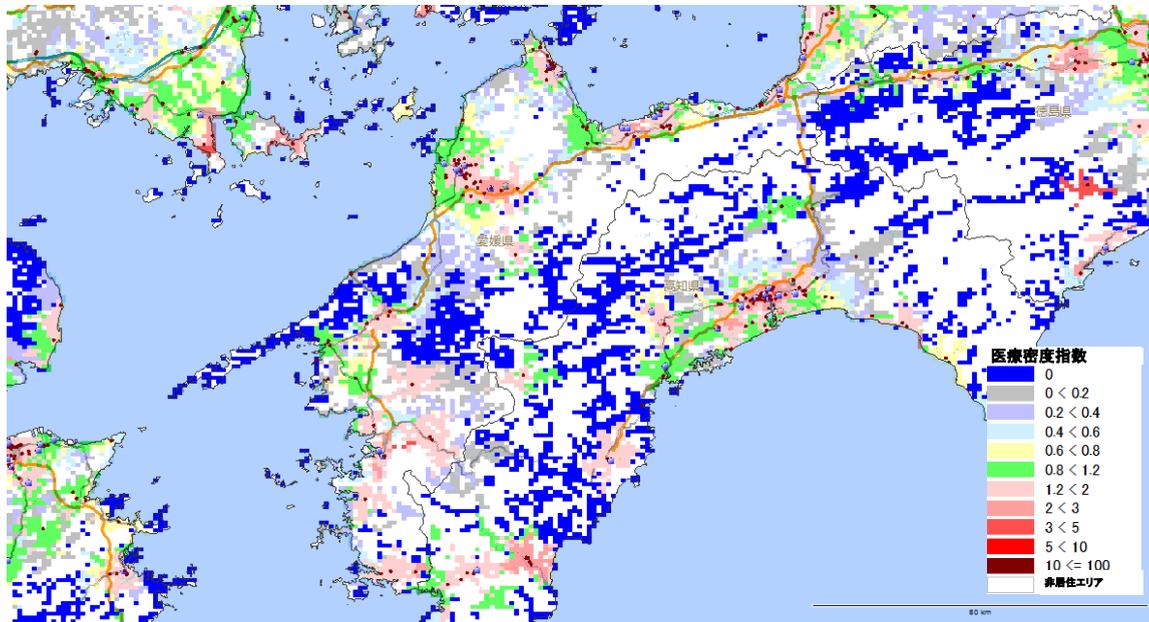
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が7,016床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2017年に5,308床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、1708床の減少、率にして24%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



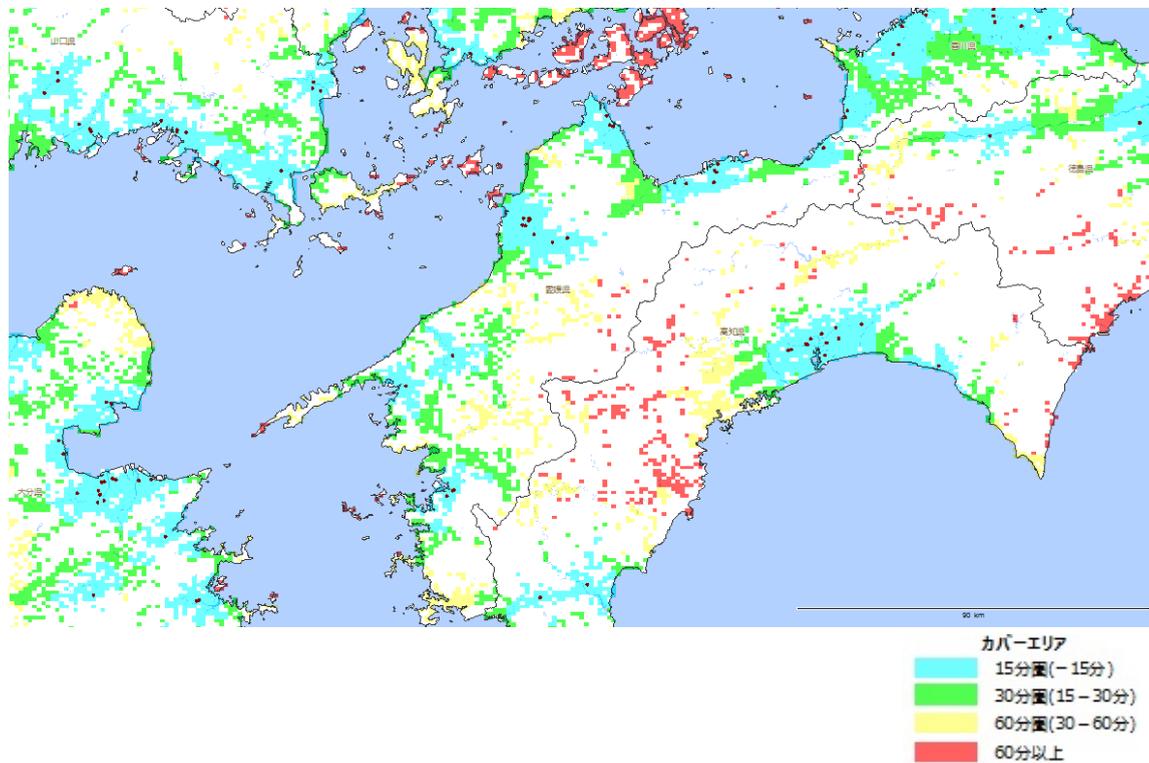
(愛媛県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



38.愛媛県(2018年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 38-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
愛媛県	1,385	28位	5,676	26位	244.1		31%	1,274	1,081	217	265	262	-8%	-15%	22%	-1%
宇摩	87	6%	421	7%	207.5	地方都市型	30%	81	68	14	17	17	-7%	-16%	21%	0%
新居浜・西条	228	16%	744	13%	306.4	地方都市型	31%	214	186	36	44	43	-6%	-13%	22%	-2%
今治	165	12%	450	8%	367.6	地方都市型	34%	145	114	28	34	29	-12%	-21%	21%	-15%
松山	646	47%	1,541	27%	419.3	地方都市型	27%	621	560	85	114	124	-4%	-10%	34%	9%
八幡浜・大洲	144	10%	1,473	26%	98.0	過疎地域型	38%	120	87	31	32	28	-17%	-28%	3%	-13%
宇和島	114	8%	1,047	18%	109.0	過疎地域型	38%	94	65	23	25	22	-18%	-31%	9%	-12%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 38-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
愛媛県	1.25	1.45	22,396	21,459	4.2%
宇摩	1.01	1.43	1,301	1,316	-1.1%
新居浜・西条	1.24	1.95	3,467	3,542	-2.2%
今治	0.86	1.34	2,562	2,783	-8.6%
松山	1.47	1.98	9,975	9,125	8.5%
八幡浜・大洲	0.69	1.10	3,067	2,612	14.8%
宇和島	1.57	1.25	2,024	2,081	-2.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 38-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
愛媛県	380	58	1.054	159	59	1.147	198	55	1.008	290	61
宇摩	431	69	1.129	195	70	1.326	211	63	1.016	317	69
新居浜・西条	401	63	1.091	182	66	1.286	195	54	0.976	283	59
今治	373	56	1.026	153	56	1.092	198	56	1.002	270	55
松山	379	57	1.067	152	56	1.111	203	58	1.051	295	62
八幡浜・大洲	383	58	1.033	165	60	1.150	197	55	0.976	284	59
宇和島	338	48	0.931	140	52	0.997	176	43	0.892	303	65
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 38-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
愛媛県	937	51	1.006	486	53	1.034	424	49	0.989
宇摩	958	53	1.026	527	57	1.117	402	44	0.938
新居浜・西条	938	52	1.003	508	55	1.075	401	43	0.935
今治	960	53	1.021	518	56	1.093	414	47	0.954
松山	971	54	1.046	479	52	1.027	462	59	1.078
八幡浜・大洲	916	50	0.981	484	53	1.016	411	46	0.967
宇和島	794	40	0.849	409	45	0.861	364	34	0.850
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 38-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
愛媛県	141	1.7%	10.2	58	1,245	1.2%	90	55
宇摩	9	6%	10.3	58	55	4%	63	41
新居浜・西条	22	16%	9.6	57	182	15%	80	50
今治	30	21%	18.2	75	119	10%	72	46
松山	52	37%	8.0	53	598	48%	93	57
八幡浜・大洲	16	11%	11.1	60	171	14%	118	70
宇和島	12	9%	10.5	59	120	10%	105	63
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 38-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
愛媛県	1,245	1.2%	90	55	1,072	1.1%	77	52	173	2.4%	12.5	61
宇摩	55	4%	63	41	48	4%	55	40	7	4%	8.0	54
新居浜・西条	182	15%	80	50	167	16%	73	49	15	9%	6.6	52
今治	119	10%	72	46	98	9%	59	42	21	12%	12.7	62
松山	598	48%	93	57	496	46%	77	51	102	59%	15.8	67
八幡浜・大洲	171	14%	118	70	158	15%	109	69	13	8%	9.0	56
宇和島	120	10%	105	63	105	10%	92	60	15	9%	13.1	63
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 38-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
愛媛県	21,980	1.4%	1,587	58	2,711	2.8%	196	63	24,691	1.5%	1,782	59
宇摩	1,365	6%	1,562	57	122	5%	140	57	1,487	6%	1,701	57
新居浜・西条	4,127	19%	1,809	62	237	9%	104	53	4,364	18%	1,913	61
今治	2,448	11%	1,481	55	268	10%	162	59	2,716	11%	1,644	56
松山	9,672	44%	1,497	56	1,608	59%	249	68	11,280	46%	1,746	58
八幡浜・大洲	2,299	10%	1,593	58	217	8%	150	58	2,516	10%	1,743	58
宇和島	2,069	9%	1,813	62	259	10%	227	66	2,328	9%	2,040	64
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 38-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
愛媛県	12,158	1.4%	878	58	4,998	1.5%	361	55	4,742	1.4%	342	54
宇摩	594	5%	680	49	405	8%	463	60	362	8%	414	57
新居浜・西条	2,151	18%	943	61	755	15%	331	54	1,196	25%	524	63
今治	1,293	11%	782	54	808	16%	489	61	343	7%	208	47
松山	5,615	46%	869	58	2,081	42%	322	53	1,948	41%	302	52
八幡浜・大洲	1,026	8%	711	50	661	13%	458	60	600	13%	416	57
宇和島	1,479	12%	1,296	77	288	6%	252	50	293	6%	257	50
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 38-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
愛媛県	1,121	1.4%	81	54	1,328	1.8%	96	56
宇摩	80	7%	92	56	73	5%	84	54
新居浜・西条	162	14%	71	52	330	25%	145	64
今治	72	6%	44	46	122	9%	74	53
松山	641	57%	99	58	479	36%	74	53
八幡浜・大洲	90	8%	62	50	221	17%	153	65
宇和島	76	7%	67	51	103	8%	90	55
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 38-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
愛媛県	7,012	6,375	273	14,980	5,790	4,714	52.4%	53	5.5%	50
宇摩	345	299	0	1,020	299	405	50.0%	52	0.0%	48
新居浜・西条	1,113	925	0	3,133	1,228	755	43.0%	49	0.0%	48
今治	511	461	0	1,988	836	859	35.5%	47	0.0%	48
松山	3,078	2,983	30	6,527	2,598	2,021	53.4%	53	1.5%	48
八幡浜・大洲	700	640	50	1,530	415	584	60.7%	56	7.9%	51
宇和島	1,265	1,067	193	782	414	90	72.0%	60	68.2%	78
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 38-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
愛媛県	21,900	0.6%	1,581	44	10,920	1.2%	788	52
宇摩	1,008	5%	1,153	42	216	2%	247	32
新居浜・西条	2,604	12%	1,142	42	2,088	19%	915	57
今治	1,368	6%	828	41	996	9%	603	45
松山	15,108	69%	2,339	47	5,724	52%	886	56
八幡浜・大洲	672	3%	466	40	924	8%	640	47
宇和島	1,140	5%	999	42	972	9%	852	55
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 38-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
愛媛県	3,609	1.2%	261	52	2,345	1.2%	169	51	1,264	1.2%	91	55
宇摩	145	4%	166	42	89	4%	102	42	56	4%	64	43
新居浜・西条	446	12%	196	45	278	12%	122	45	168	13%	74	47
今治	310	9%	188	44	197	8%	119	44	113	9%	68	45
松山	2,180	60%	337	61	1,493	64%	231	60	687	54%	106	61
八幡浜・大洲	271	8%	188	44	127	5%	88	40	144	11%	100	58
宇和島	257	7%	225	48	161	7%	141	47	96	8%	84	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 38-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
愛媛県	271	1.2%	19.6	52	156	1.2%	11.3	51	129	1.1%	9.3	51
宇摩	7	3%	8.0	39	5	3%	5.7	40	9	7%	10.3	54
新居浜・西条	28	10%	12.3	44	20	13%	8.8	46	17	13%	7.5	47
今治	25	9%	15.1	47	17	11%	10.3	49	11	9%	6.7	45
松山	174	64%	26.9	60	96	62%	14.9	59	78	60%	12.1	58
八幡浜・大洲	22	8%	15.2	47	9	6%	6.2	41	4	3%	2.8	35
宇和島	15	6%	13.1	45	9	6%	7.9	44	10	8%	8.8	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 38-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
愛媛県	59	1.1%	4.3	49	125	1.3%	9.0	54	109	1.4%	7.9	57
宇摩	1	2%	1.1	35	6	5%	6.9	47	2	2%	2.3	36
新居浜・西条	6	10%	2.6	42	16	13%	7.0	48	19	17%	8.3	59
今治	11	19%	6.7	60	9	7%	5.4	43	7	6%	4.2	43
松山	39	66%	6.0	57	75	60%	11.6	62	67	61%	10.4	66
八幡浜・大洲	1	2%	0.7	33	10	8%	6.9	48	8	7%	5.5	48
宇和島	1	2%	0.9	34	9	7%	7.9	51	6	6%	5.3	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 38-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
愛媛県	96	1.0%	6.9	49	257	1.2%	18.6	53	217	1.3%	15.7	56
宇摩	5	5%	5.7	46	11	4%	12.6	44	12	6%	13.7	52
新居浜・西条	13	14%	5.7	46	35	14%	15.3	48	31	14%	13.6	51
今治	9	9%	5.4	45	22	9%	13.3	45	19	9%	11.5	47
松山	57	59%	8.8	55	160	62%	24.8	61	117	54%	18.1	61
八幡浜・大洲	9	9%	6.2	47	14	5%	9.7	40	14	6%	9.7	43
宇和島	3	3%	2.6	37	15	6%	13.1	45	24	11%	21.0	67
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 38-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
愛媛県	96	1.6%	6.9	60	95	1.4%	6.9	56	106	1.9%	7.7	60
宇摩	2	2%	2.3	38	2	2%	2.3	37	5	5%	5.7	54
新居浜・西条	14	15%	6.1	57	14	15%	6.1	53	15	14%	6.6	57
今治	6	6%	3.6	45	9	9%	5.4	51	15	14%	9.1	65
松山	59	61%	9.1	71	59	62%	9.1	66	64	60%	9.9	68
八幡浜・大洲	9	9%	6.2	57	7	7%	4.9	48	2	2%	1.4	40
宇和島	6	6%	5.3	53	4	4%	3.5	42	5	5%	4.4	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 38-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
愛媛県	83	1.2%	6.0	51	25	1.6%	1.8	56	27	0.7%	1.9	45
宇摩	2	2%	2.3	40	1	4%	1.1	49	0	0%	0	34
新居浜・西条	8	10%	3.5	44	5	20%	2.2	59	1	4%	0.4	37
今治	4	5%	2.4	40	1	4%	0.6	43	0	0%	0	34
松山	62	75%	9.6	62	16	64%	2.5	62	22	81%	3.4	52
八幡浜・大洲	3	4%	2.1	39	0	0%	0	37	1	4%	0.7	38
宇和島	4	5%	3.5	44	2	8%	1.8	55	3	11%	2.6	48
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 38-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
愛媛県	28	1.3%	2.0	53	31	1.2%	2.2	52
宇摩	3	11%	3.4	64	1	3%	1.1	44
新居浜・西条	4	14%	1.8	51	1	3%	0.4	39
今治	1	4%	0.6	41	2	6%	1.2	45
松山	17	61%	2.6	58	18	58%	2.8	56
八幡浜・大洲	1	4%	0.7	42	3	10%	2.1	51
宇和島	2	7%	1.8	51	6	19%	5.3	73
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 38-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
愛媛県	16,163	1.4%	1,167	59	12,548	1.4%	906	58	3,616	1.6%	261	62
宇摩	800	5%	915	50	637	5%	729	50	163	5%	186	51
新居浜・西条	2,566	16%	1,125	58	2,146	17%	941	59	421	12%	184	51
今治	1,824	11%	1,104	57	1,429	11%	865	56	395	11%	239	59
松山	8,039	50%	1,244	62	6,109	49%	946	59	1,929	53%	299	67
八幡浜・大洲	1,579	10%	1,094	57	1,149	9%	796	53	429	12%	298	67
宇和島	1,356	8%	1,188	60	1,078	9%	944	59	278	8%	244	59
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 38-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
愛媛県	1,985	1.4%	143	56	2,832	0.9%	204	47
宇摩	139	7%	159	59	152	5%	174	44
新居浜・西条	284	14%	125	53	419	15%	184	45
今治	233	12%	141	56	288	10%	174	44
松山	971	49%	150	57	1,532	54%	237	50
八幡浜・大洲	223	11%	154	58	243	9%	168	43
宇和島	135	7%	118	51	198	7%	173	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 38-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
愛媛県	201	1.4%	0.9	51	23	1.7%	0.1	53	169	1.5%	0.8	55
宇摩	6	3%	0.4	40	0	0%	0	38	8	5%	0.6	46
新居浜・西条	21	10%	0.6	43	2	9%	0.1	46	19	11%	0.5	43
今治	14	7%	0.5	42	4	17%	0.1	59	12	7%	0.4	39
松山	113	56%	1.3	60	15	65%	0.2	63	94	56%	1.1	70
八幡浜・大洲	31	15%	1.0	53	2	9%	0.1	47	13	8%	0.4	38
宇和島	16	8%	0.7	46	0	0%	0	38	23	14%	1.0	65
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 38-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
愛媛県	26,163	1.5%	121	60	13,370	1.3%	62	50	12,793	1.8%	59	61
宇摩	1,634	6%	120	60	1,010	8%	74	60	624	5%	46	52
新居浜・西条	3,932	15%	110	53	2,354	18%	66	53	1,578	12%	44	51
今治	2,738	10%	99	47	1,838	14%	67	54	900	7%	33	44
松山	12,186	47%	143	73	4,691	35%	55	45	7,495	59%	88	79
八幡浜・大洲	3,294	13%	107	52	1,994	15%	65	53	1,300	10%	42	50
宇和島	2,379	9%	103	49	1,483	11%	64	52	896	7%	39	48
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 38-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
愛媛県	5,352	1.5%	25	54	7,098	1.2%	33	48	920	1.5%	4.2	51
宇摩	427	8%	31	65	478	7%	35	50	105	11%	7.7	60
新居浜・西条	816	15%	23	50	1,481	21%	41	56	57	6%	1.6	45
今治	823	15%	30	62	828	12%	30	45	187	20%	6.8	58
松山	1,868	35%	22	49	2,376	33%	28	43	447	49%	5.2	54
八幡浜・大洲	903	17%	29	62	1,027	14%	33	48	64	7%	2.1	46
宇和島	515	10%	22	50	908	13%	39	54	60	7%	2.6	47
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
愛媛県	2,971	1.3%	13.7	49	594	2.5%	2.7	56	5,102	2.5%	23.6	69
宇摩	0	0%	0	37	110	19%	8.1	81	181	4%	13.3	52
新居浜・西条	221	7%	6.2	42	30	5%	0.8	47	862	17%	24.0	70
今治	116	4%	4.2	40	104	18%	3.8	61	504	10%	18.2	60
松山	2,215	75%	25.9	61	290	49%	3.4	59	2,443	48%	28.6	78
八幡浜・大洲	261	9%	8.5	44	60	10%	1.9	52	752	15%	24.4	71
宇和島	158	5%	6.8	43	0	0%	0	43	360	7%	15.5	55
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)	
愛媛県	4,126	1.8%	19.0	57	359	1.6%	1.7	52	3,767	1.8%	17.4	57	
宇摩	333	8%	24.5	65	0	0%	0	43	333	9%	24.5	67	
新居浜・西条	465	11%	13.0	48	0	0%	0	43	465	12%	13.0	50	
今治	176	4%	6.4	39	0	0%	0	43	176	5%	6.4	40	
松山	2,547	62%	29.8	72	336	94%	3.9	64	2,211	59%	25.9	69	
八幡浜・大洲	227	6%	7.4	40	0	0%	0	43	227	6%	7.4	42	
宇和島	378	9%	16.3	53	23	6%	1.0	48	355	9%	15.3	54	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資_図表 38-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 看護師数	介護施設			看護師数 (施設)	訪問看護						
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
愛媛県	2,694	1.6%	12.4	58	1,995	1.7%	9.2	59	699	1.4%	3.2	51
宇摩	190	7%	14.0	65	150	7%	11.0	68	40	6%	3.0	48
新居浜・西条	342	13%	9.5	46	266	13%	7.4	50	77	11%	2.1	40
今治	325	12%	11.8	55	275	14%	9.9	63	51	7%	1.8	38
松山	1,306	48%	15.3	71	911	46%	10.7	67	395	56%	4.6	64
八幡浜・大洲	297	11%	9.6	46	240	12%	7.8	52	57	8%	1.8	38
宇和島	234	9%	10.1	48	154	8%	6.6	46	80	11%	3.4	53
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 38-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
愛媛県	23,550	1.6%	109	63	20,151	1.6%	93	63	3,399	1.5%	15.7	54
宇摩	1,617	7%	119	72	1,436	7%	106	74	181	5%	13.3	50
新居浜・西条	3,795	16%	106	61	3,310	16%	92	62	485	14%	13.5	50
今治	2,725	12%	99	55	2,403	12%	87	57	321	9%	11.6	47
松山	10,047	43%	118	70	8,352	41%	98	67	1,695	50%	19.8	61
八幡浜・大洲	2,969	13%	96	53	2,731	14%	89	59	238	7%	7.7	40
宇和島	2,397	10%	103	59	1,919	10%	83	54	478	14%	20.6	63

出典 平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 38-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
愛媛県	21,598	1.8%	100	57	5,973	1.2%	28	47	16,461	1.4%	76	50
宇摩	421	2%	31	37	232	4%	17	39	1,284	8%	95	57
新居浜・西条	1,653	8%	46	42	582	10%	16	38	2,572	16%	72	49
今治	775	4%	28	37	318	5%	12	35	1,816	11%	66	47
松山	15,269	71%	179	79	3,684	62%	43	59	7,672	47%	90	56
八幡浜・大洲	2,280	11%	74	50	476	8%	15	38	1,157	7%	38	36
宇和島	1,200	6%	52	43	681	11%	29	49	1,960	12%	85	54

出典 平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 38-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
愛媛県		1,467,815	1,385,262	-6%	1,274,128	-13%	6%	1%	7%
宇摩	地方都市型	92,854	87,413	-6%	80,618	-13%	6%	1%	7%
新居浜・西条	地方都市型	237,323	228,077	-4%	213,567	-10%	7%	2%	8%
今治	地方都市型	182,081	165,249	-9%	145,387	-20%	3%	-3%	0%
松山	地方都市型	653,642	646,055	-1%	620,887	-5%	12%	6%	19%
八幡浜・大洲	過疎地域型	168,713	144,324	-14%	120,111	-29%	-5%	-9%	-13%
宇和島	過疎地域型	133,202	114,144	-14%	93,558	-30%	-2%	-8%	-10%

出典 <人口(2005年)> 平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)
<人口(2015年)> 平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)> 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。

資_図表 38-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
愛媛県	155	10.6	59	141	10.2	58	-14	-9%
宇摩	9	9.7	57	9	10.3	58	0	0%
新居浜・西条	22	9.3	56	22	9.6	57	0	0%
今治	33	18.1	79	30	18.2	75	-3	-9%
松山	58	8.9	55	52	8.0	53	-6	-10%
八幡浜・大洲	19	11.3	61	16	11.1	60	-3	-16%
宇和島	14	10.5	59	12	10.5	59	-2	-14%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 38-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
愛媛県	1,209	82	53	1,245	90	55	36	3%
宇摩	57	61	43	55	63	41	-2	-4%
新居浜・西条	189	80	52	182	80	50	-7	-4%
今治	120	66	45	119	72	46	-1	-1%
松山	531	81	53	598	93	57	67	13%
八幡浜・大洲	176	104	64	171	118	70	-5	-3%
宇和島	136	102	63	120	105	63	-16	-12%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 38-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
愛媛県	3,444	235	53	3,609	261	52	165	5%
宇摩	166	179	46	145	166	42	-21	-13%
新居浜・西条	517	218	51	446	196	45	-71	-14%
今治	321	176	46	310	188	44	-11	-3%
松山	1,838	281	58	2,180	337	61	342	19%
八幡浜・大洲	316	187	47	271	188	44	-45	-14%
宇和島	286	215	50	257	225	48	-29	-10%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 38-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
愛媛県	29,963	204	61	24,691	178	59	-5,272	-18%
宇摩	1,740	187	58	1,487	170	57	-253	-15%
新居浜・西条	5,250	221	64	4,364	191	61	-886	-17%
今治	3,231	177	56	2,716	164	56	-515	-16%
松山	13,213	202	61	11,280	175	58	-1,933	-15%
八幡浜・大洲	3,292	195	60	2,516	174	58	-776	-24%
宇和島	3,237	243	68	2,328	204	64	-909	-28%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 38-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
愛媛県	17,519	119	63	14,559	105	61	-2,960	-17%
宇摩	959	103	57	704	81	51	-255	-27%
新居浜・西条	2,807	118	62	2,366	104	60	-441	-16%
今治	1,900	104	57	1,561	94	57	-339	-18%
松山	8,058	123	64	7,042	109	62	-1,016	-13%
八幡浜・大洲	1,663	99	55	1,215	84	53	-448	-27%
宇和島	2,132	160	77	1,671	146	77	-461	-22%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 38-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

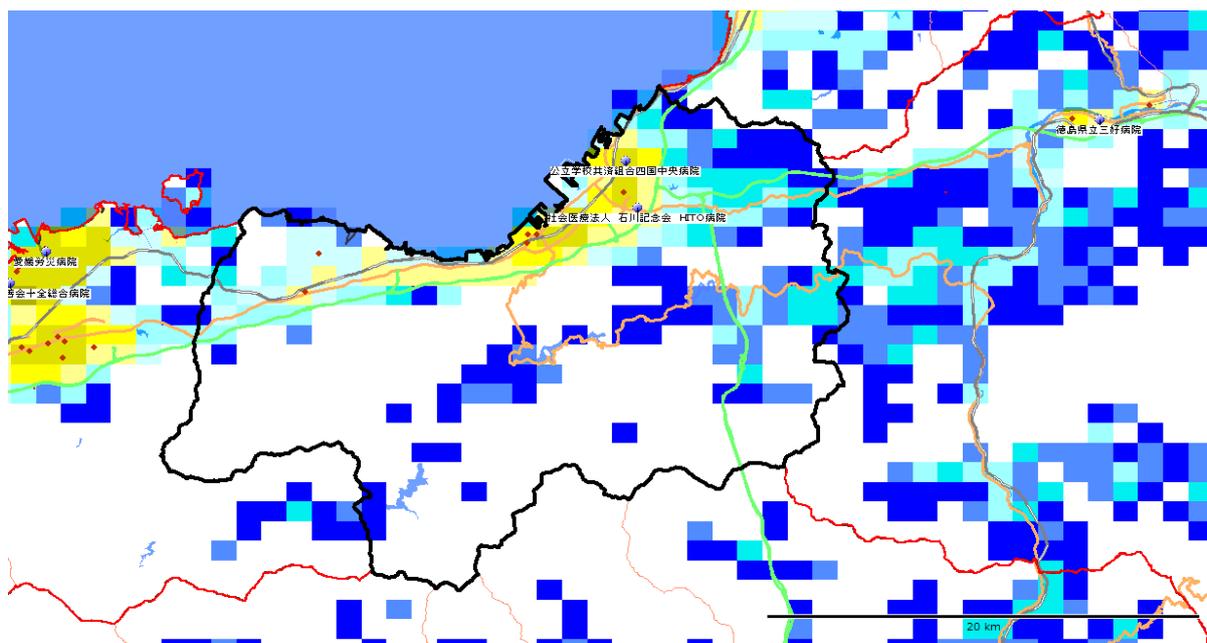
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
愛媛県	7,016	40	55	5,308	25	54	-1,708	-24%
宇摩	399	37	53	417	31	59	18	5%
新居浜・西条	1,055	36	52	777	22	51	-278	-26%
今治	934	40	54	808	29	58	-126	-13%
松山	3,098	50	60	2,262	26	55	-836	-27%
八幡浜・大洲	914	33	50	689	22	52	-225	-25%
宇和島	616	30	49	355	15	45	-261	-42%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

38-1. ^う^ま宇摩医療圏

構成市区町村 [四国中央市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宇摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 宇摩(四国中央市)は、総人口約87千人(2015年)、面積421km²、人口密度は208人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 宇摩の総人口は2025年に81千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に68千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 宇摩の一人当たり医療費(国保)は431千円(偏差値69)、介護給付費は317千円(偏差値69)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 宇摩の一人当たり急性期医療密度指数は1.01、一人当たり慢性期医療密度指数は1.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。宇摩には、年間全身麻酔件数が500例以上の四国中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 宇摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,634人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,010床(偏差値60)、高齢者住宅等が624床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,436人(75歳以上1,000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設60、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム81、グループホーム52、サ高住65である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、181人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宇摩医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宇摩医療圏の総人口は、2005年92,854人が、2015年に87,413人と6%減少し、2025年の人口が80,618人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

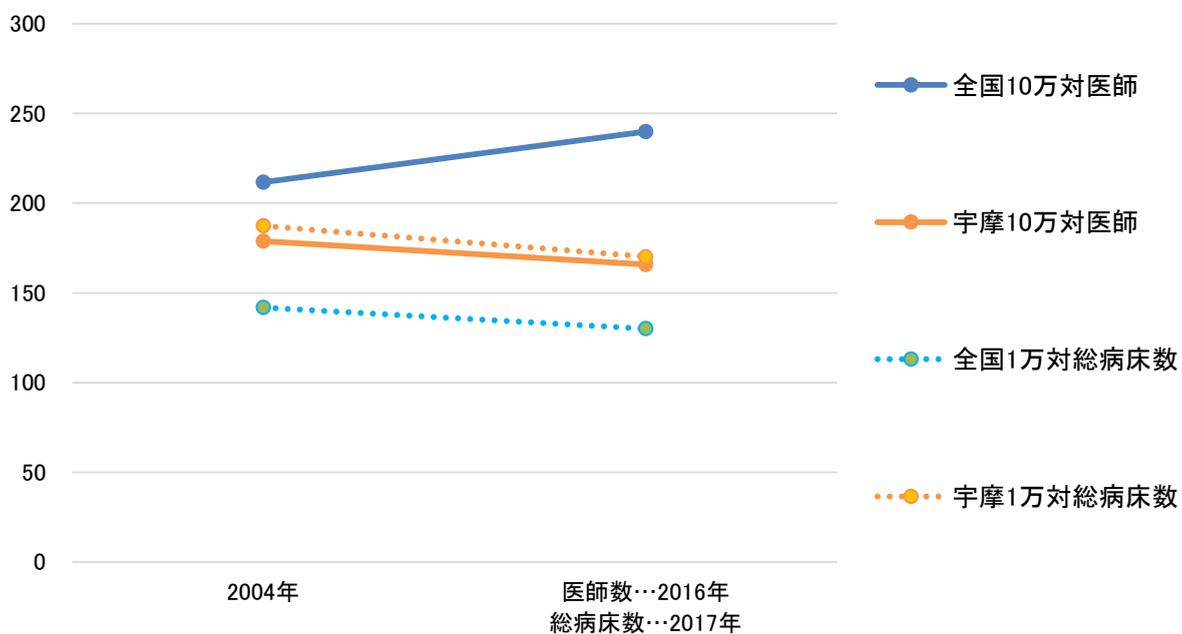
2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2017年に9(人口10万人当たり10.3病院(全国平均6.6)偏差値58)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2017年に55(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,740床(人口1万人当たり187(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に1,487床(人口1万人当たり170(全国平均130)偏差値57)と、253床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

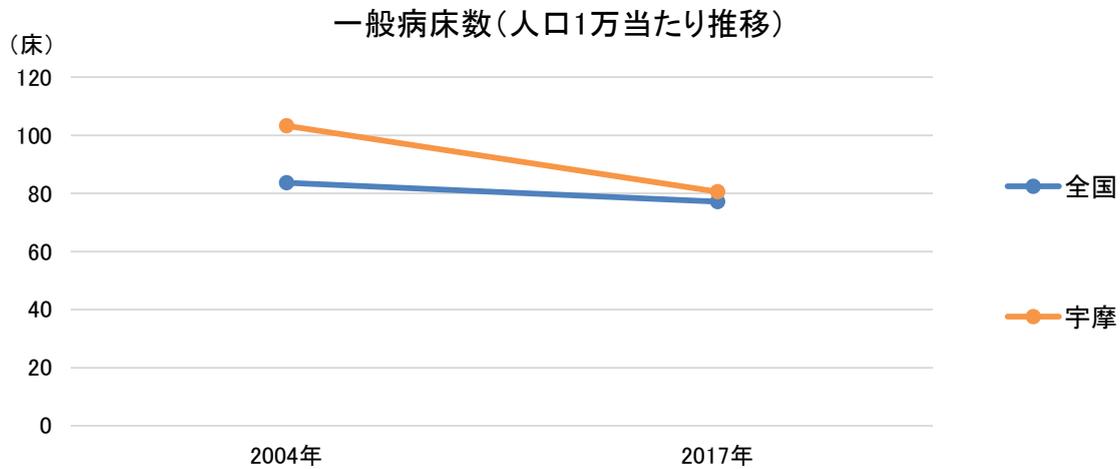
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が166人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に145人(人口10万人当たり166人(全国平均240人)偏差値42)と、21人の減少、率にして13%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



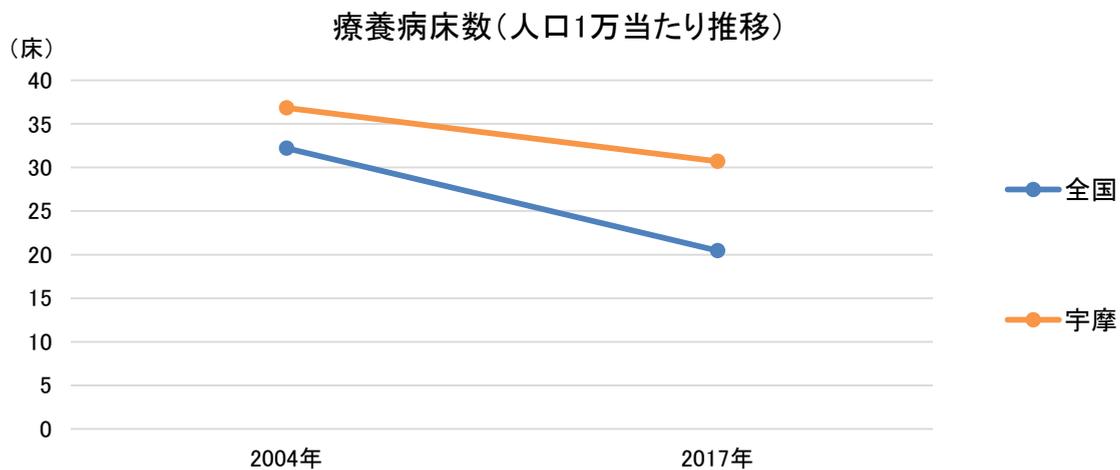
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が959床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に704床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値51)と、255床の減少、率にして27%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



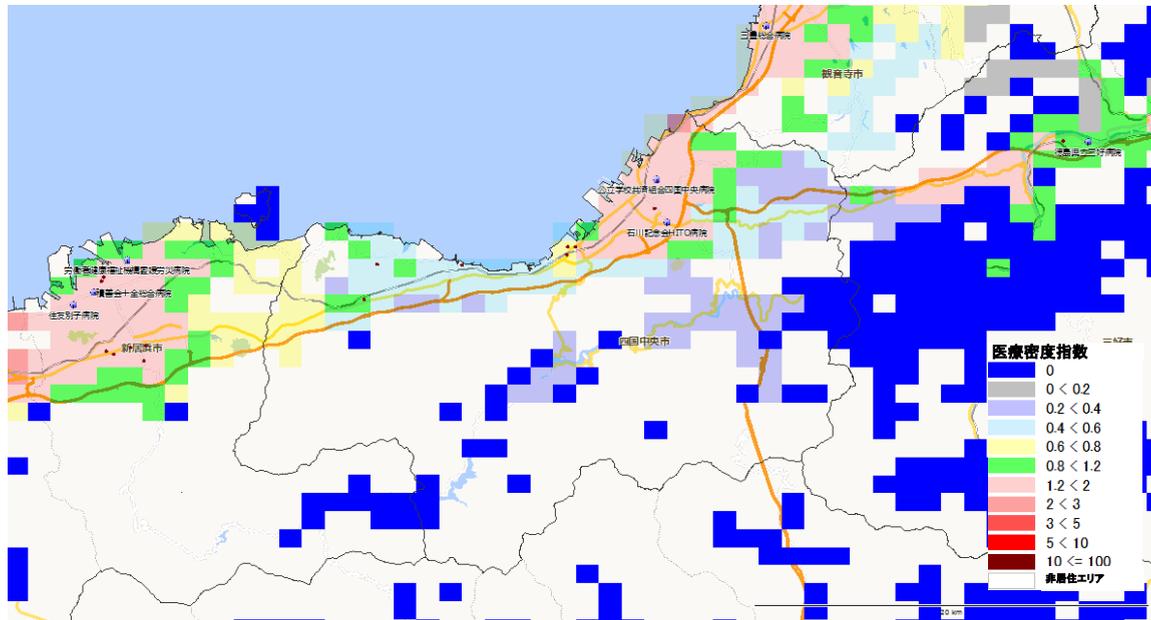
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が399床(75歳以上1,000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2017年に417床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値59)と、18床の増加、率にして5%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



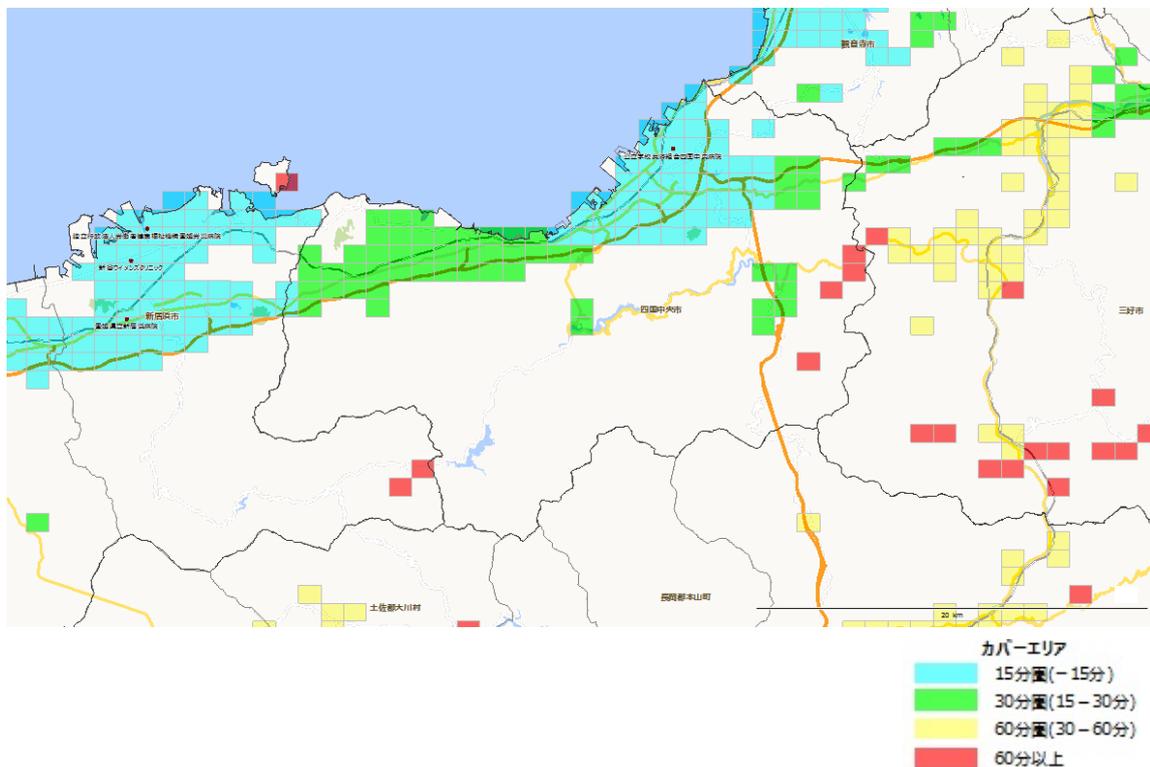
(宇摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

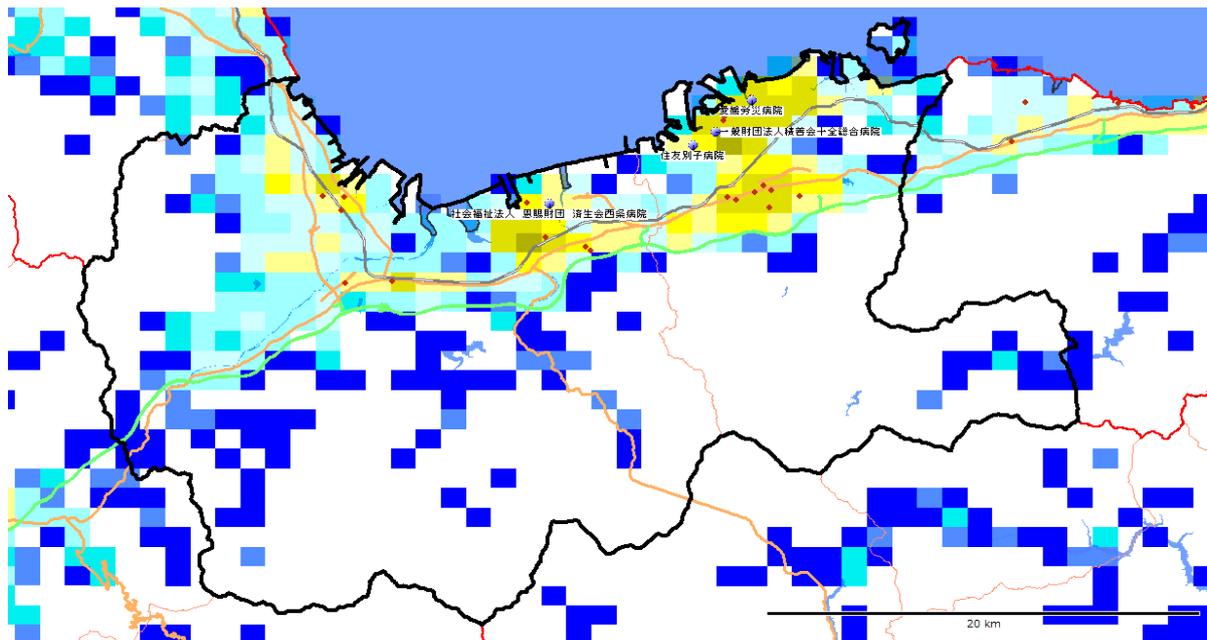


38-2. にい は ま さいじょう 新居浜・西条医療圏

構成市区町村 [新居浜市](#) [西条市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キ)



DPC病院



● 一般病院

(新居浜・西条医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新居浜・西条(新居浜市)は、総人口約228千人(2015年)、面積744km²、人口密度は306人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新居浜・西条の総人口は2025年に214千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に186千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて44千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新居浜・西条の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値63)、介護給付費は283千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新居浜・西条の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は1.95で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数45、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。新居浜・西条には、年間全身麻酔件数が500例以上の住友別子病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は63で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新居浜・西条の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,932人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,354床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,578床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,310人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム42、軽費ホーム47、グループホーム70、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、485人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(新居浜・西条医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

新居浜・西条医療圏の総人口は、2005年237,323人が、2015年に228,077人と4%減少し、2025年の人口が213,567人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

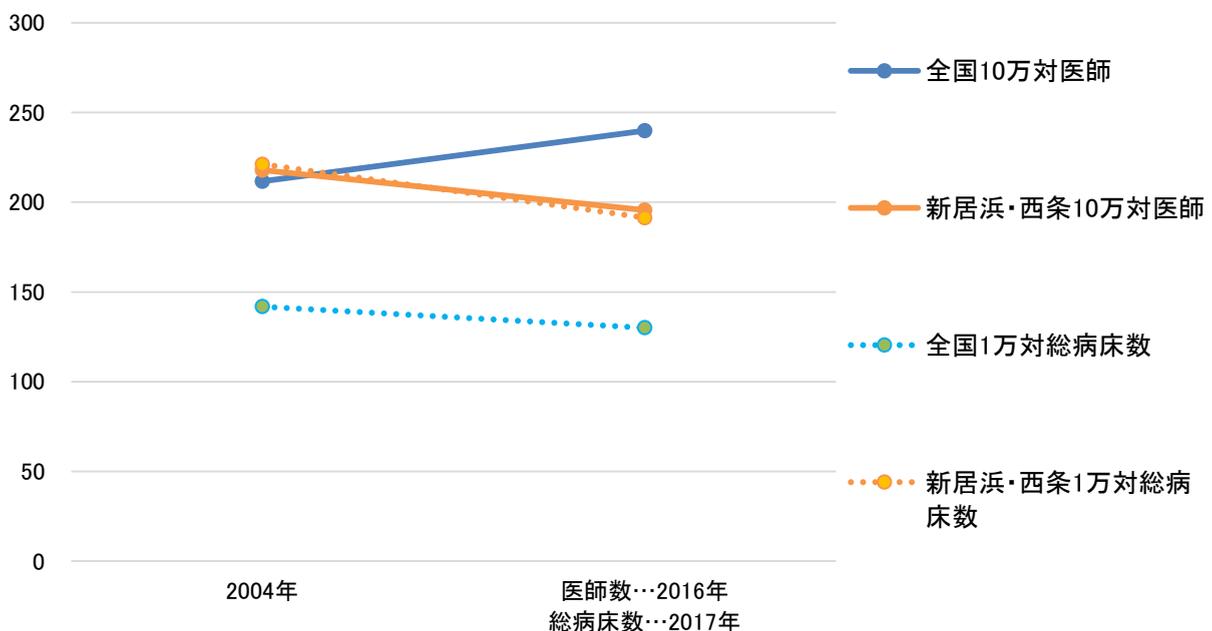
2004年の病院数が22(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2017年に22(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が189(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2017年に182(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,250床(人口1万人当たり221(全国平均142)偏差値64)であったが、2017年に4,364床(人口1万人当たり191(全国平均130)偏差値61)と、886床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

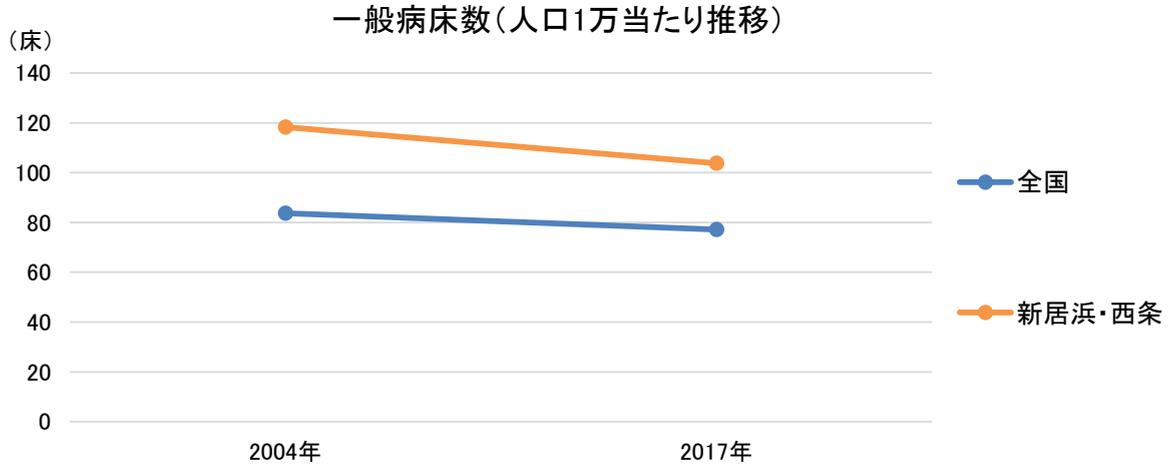
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が517人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に446人(人口10万人当たり196人(全国平均240人)偏差値45)と、71人の減少、率にして14%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



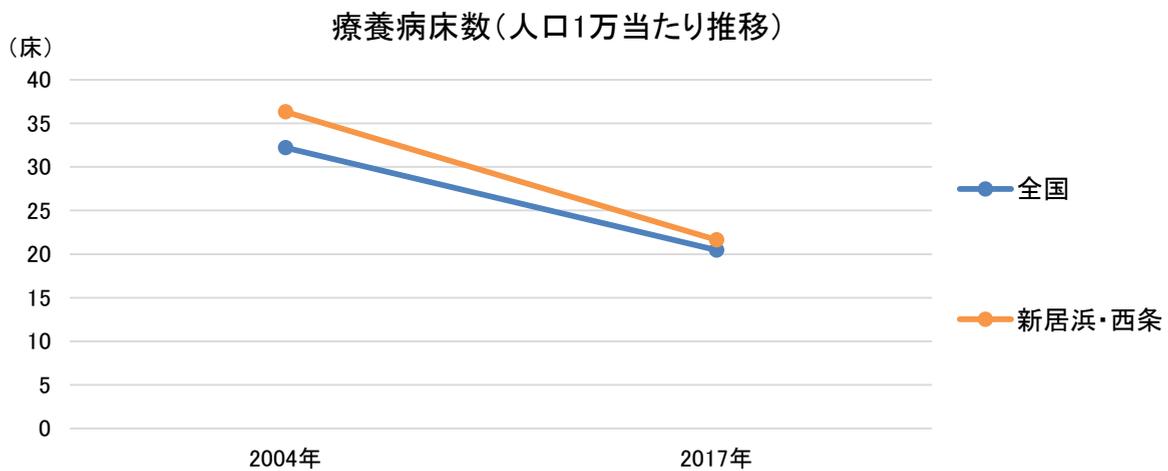
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,807床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2017年に2,366床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、441床の減少、率にして16%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



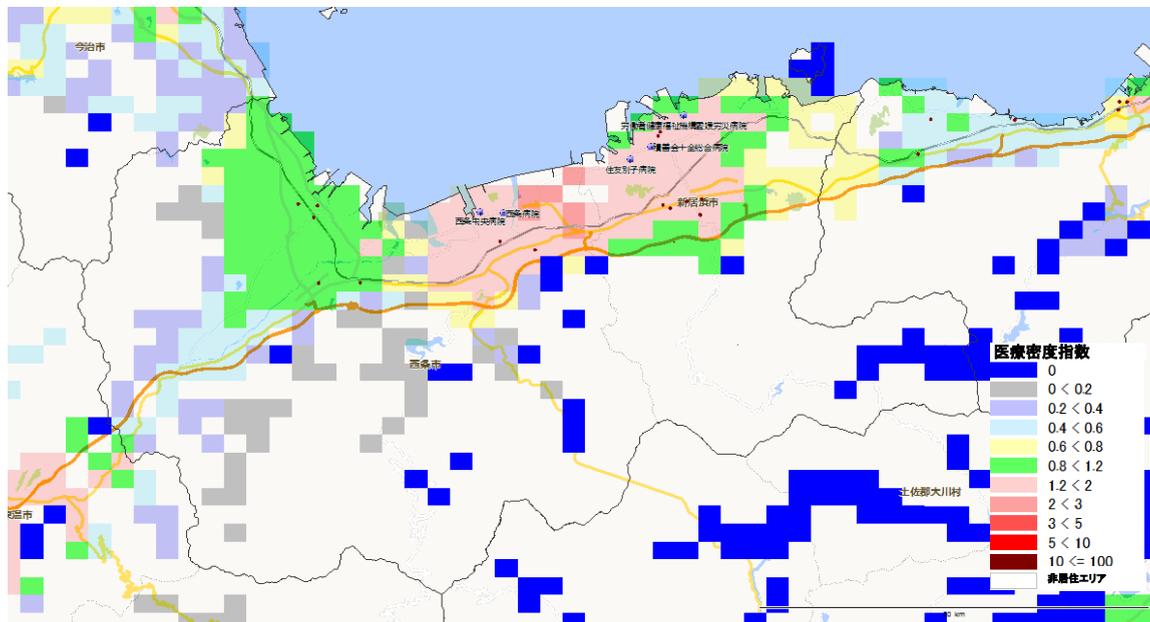
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,055床(75歳以上1,000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2017年に777床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、278床の減少、率にして26%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



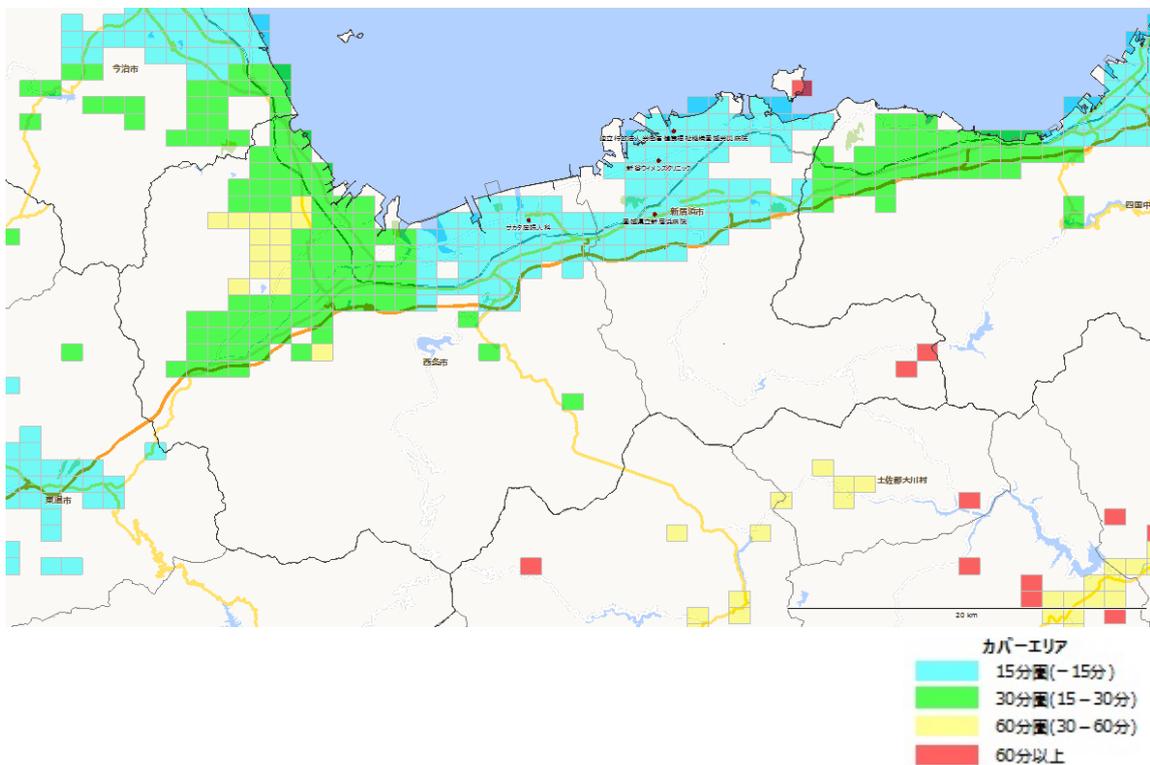
(新居浜・西条医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

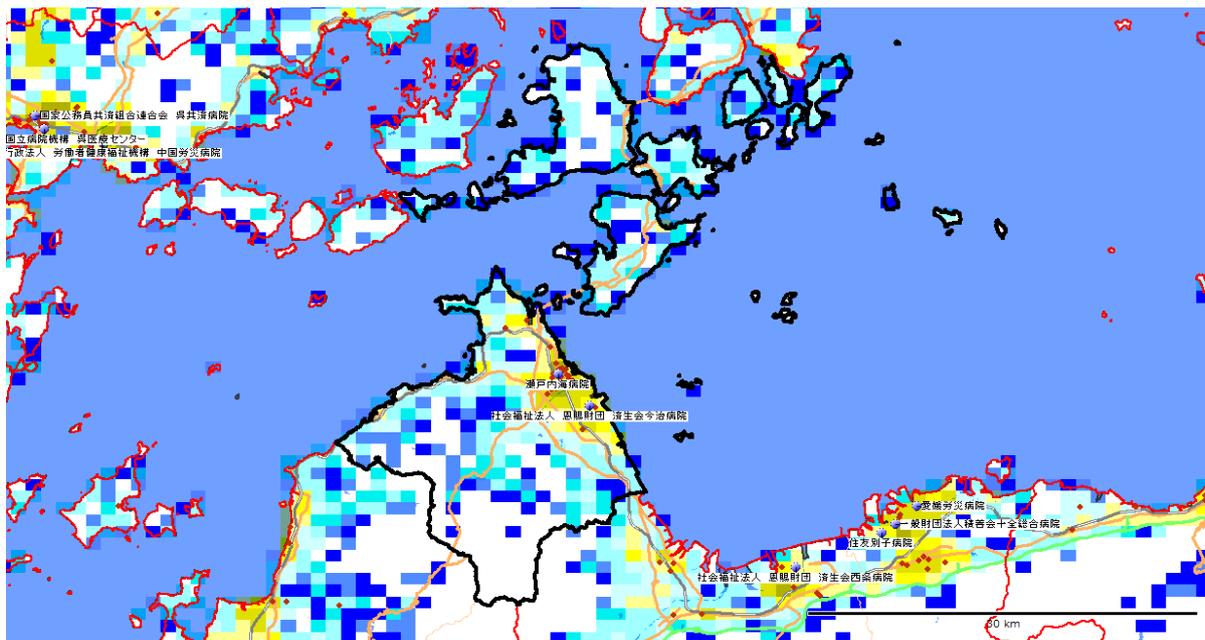


38-3. いまばり 今治医療圏

構成市区町村 [今治市](#) [上島町](#)

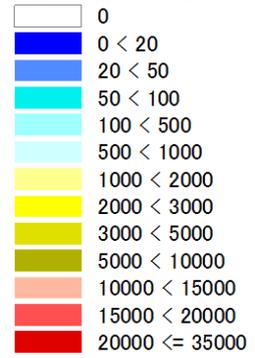
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



(今治医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 今治(今治市)は、総人口約165千人(2015年)、面積450km²、人口密度は368人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 今治の総人口は2025年に145千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に114千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には29千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 今治の一人当たり医療費(国保)は373千円(偏差値56)、介護給付費は270千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 今治の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.34で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。今治には、年間全身麻酔件数が500例以上の済生会今治病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 今治の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,738人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,838床(偏差値54)、高齢者住宅等が900床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,403人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム40、軽費ホーム61、グループホーム60、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、321人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(今治医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

今治医療圏の総人口は、2005年182,081人が、2015年に165,249人と9%減少し、2025年の人口が145,387人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

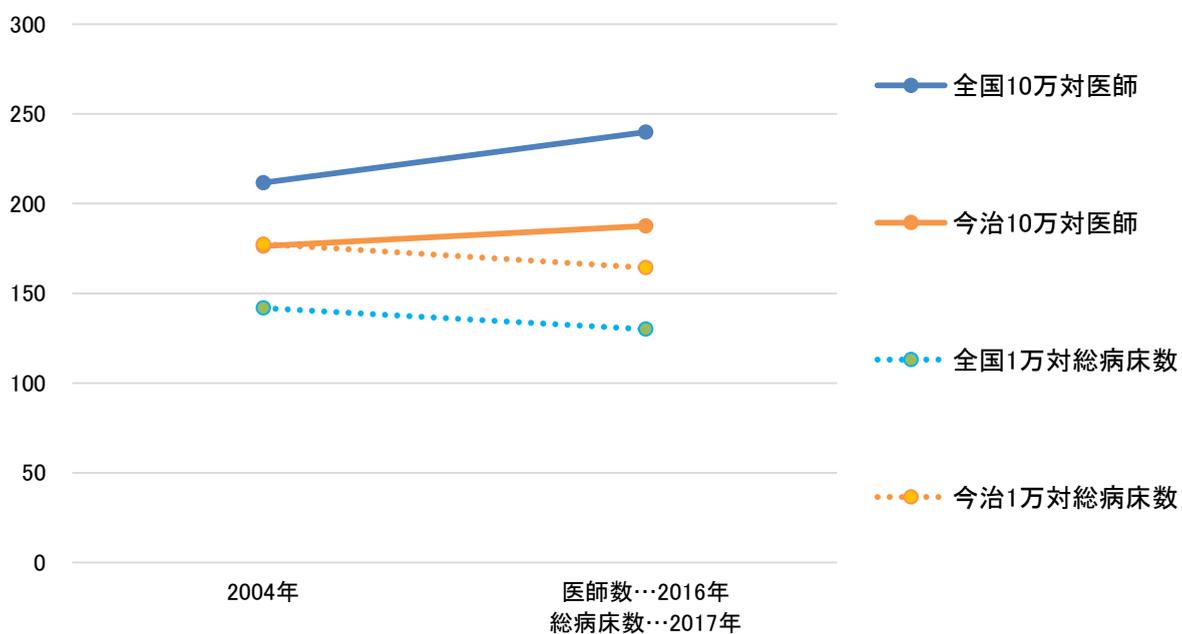
2004年の病院数が33(人口10万人当たり18.1病院(全国平均7.1)偏差値79)であったが、2017年に30(人口10万人当たり18.2病院(全国平均6.6)偏差値75)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に119(人口10万人当たり72診療所(全国平均80)偏差値46)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,231床(人口1万人当たり177(全国平均142)偏差値56)であったが、2017年に2,716床(人口1万人当たり164(全国平均130)偏差値56)と、515床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

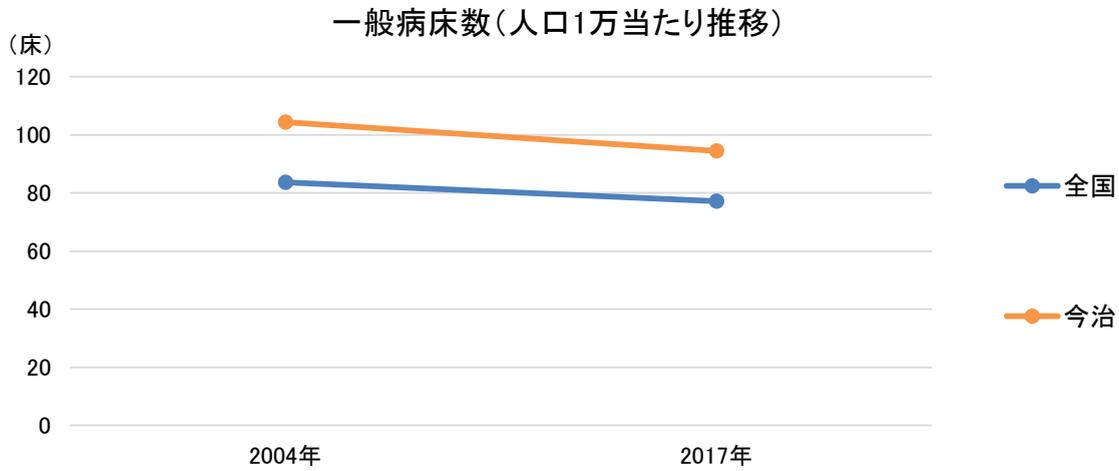
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が321人(人口10万人当たり176人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に310人(人口10万人当たり188人(全国平均240人)偏差値44)と、11人の減少、率にして3%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



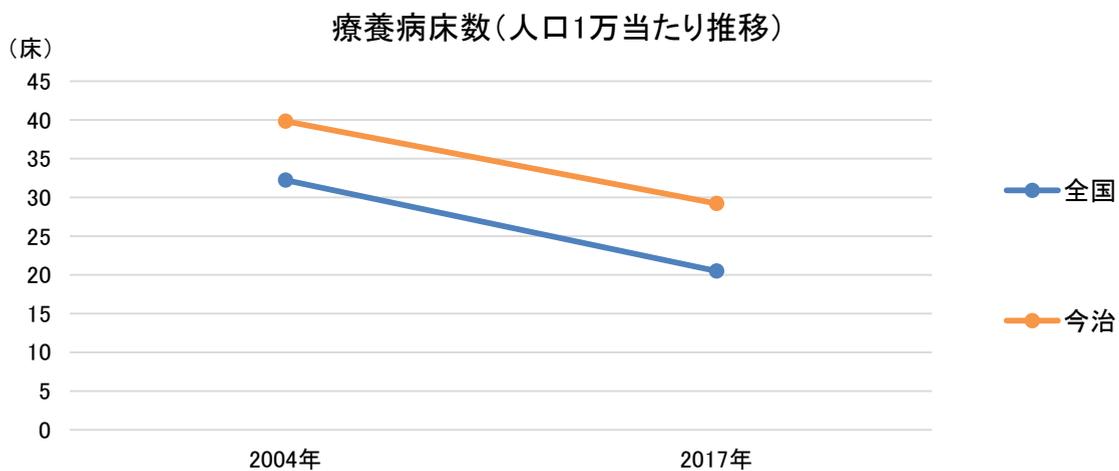
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,900床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に1,561床(人口1万人当たり94(全国平均77)偏差値57)と、339床の減少、率にして18%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



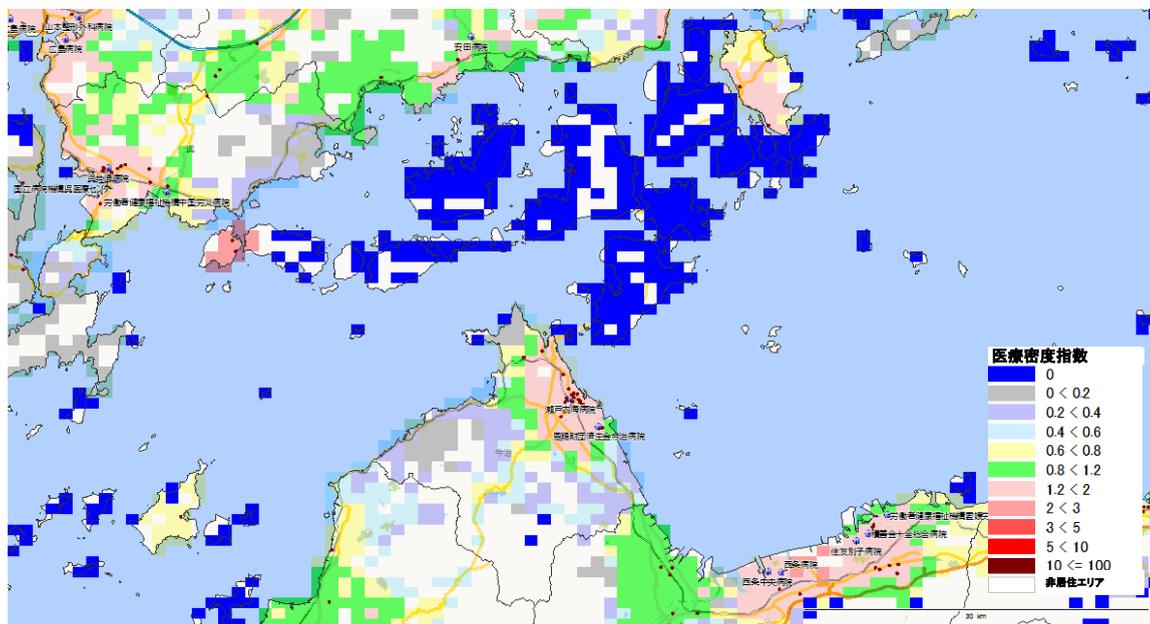
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が934床(75歳以上1,000人当たり40(全国平均32)偏差値54)であったが、2017年に808床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均20)偏差値58)と、126床の減少、率にして13%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



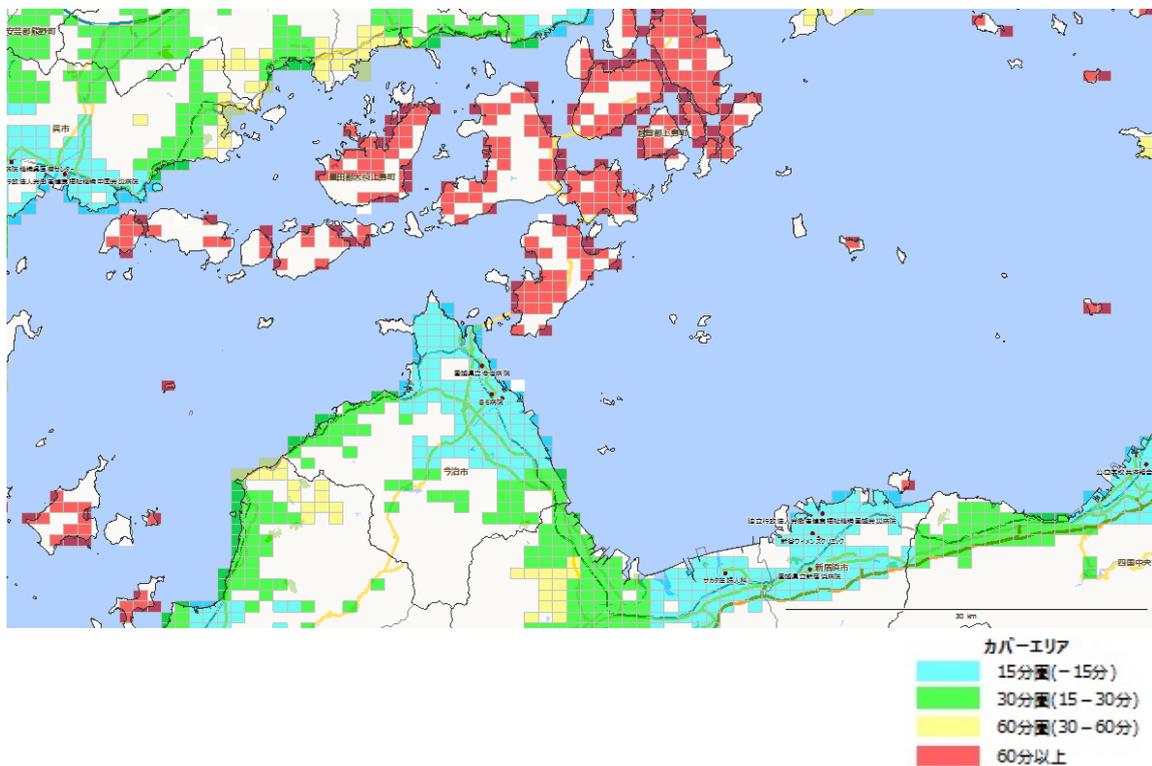
(今治医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

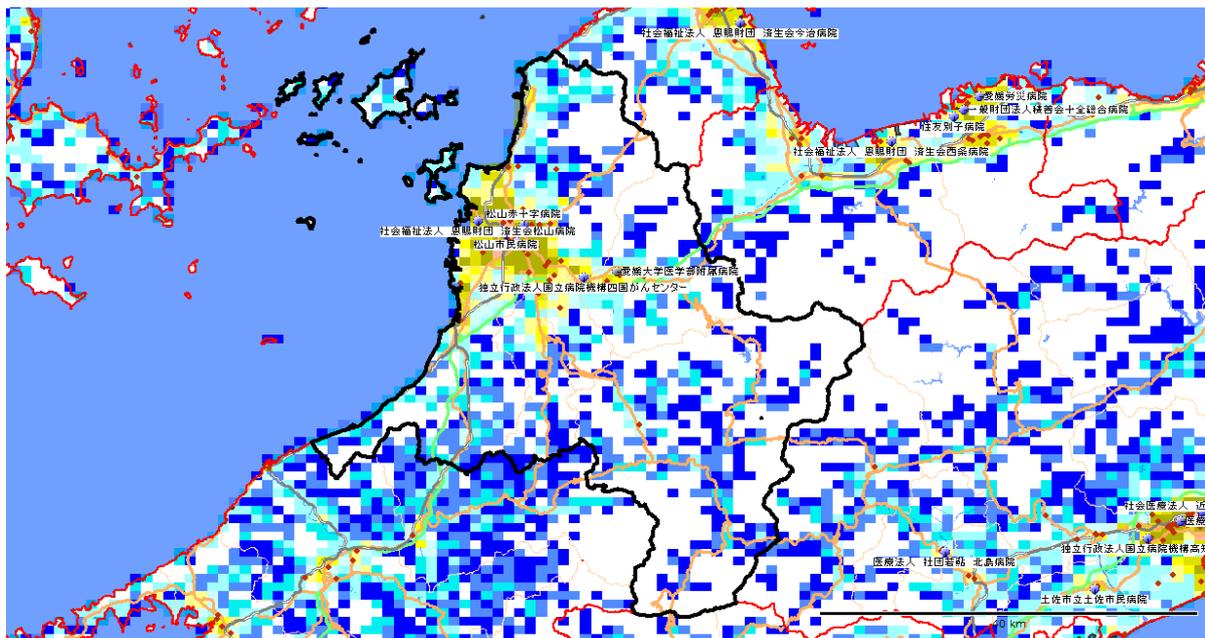


38-4. まつやま 松山医療圏

構成市区町村 [松山市](#) [伊予市](#) [東温市](#) [久万高原町](#)
[松前町](#) [砥部町](#)

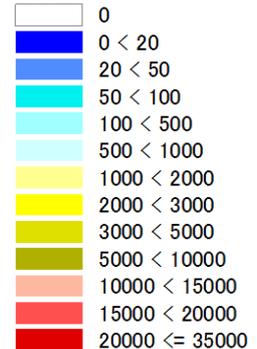
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(松山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 松山(松山市)は、総人口約646千人(2015年)、面積1,541km²、人口密度は419人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 松山の総人口は2025年に621千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に560千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の85千人が、2025年にかけて114千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には124千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 松山の一人当たり医療費(国保)は379千円(偏差値57)、介護給付費は295千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 松山の一人当たり急性期医療密度指数は1.47、一人当たり慢性期医療密度指数は1.98で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が61(病院医師数60、診療所医師数61)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。松山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の松山赤十字病院(Ⅲ群)、愛媛県立中央病院(Ⅱ群・救命)、愛媛大学医学部附属病院(Ⅰ群)、1000例以上のNHQ四国がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の松山市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 松山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,186人(75歳以上1,000人当たりの偏差値73)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,691床(偏差値45)、高齢者住宅等が7,495床(偏差値79)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8,352人(75歳以上1,000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム61、軽費ホーム59、グループホーム78、サ高住72である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値63と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、1,695人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(松山医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

松山医療圏の総人口は、2005年653,642人が、2015年に646,055人と1%減少し、2025年の人口が620,887人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

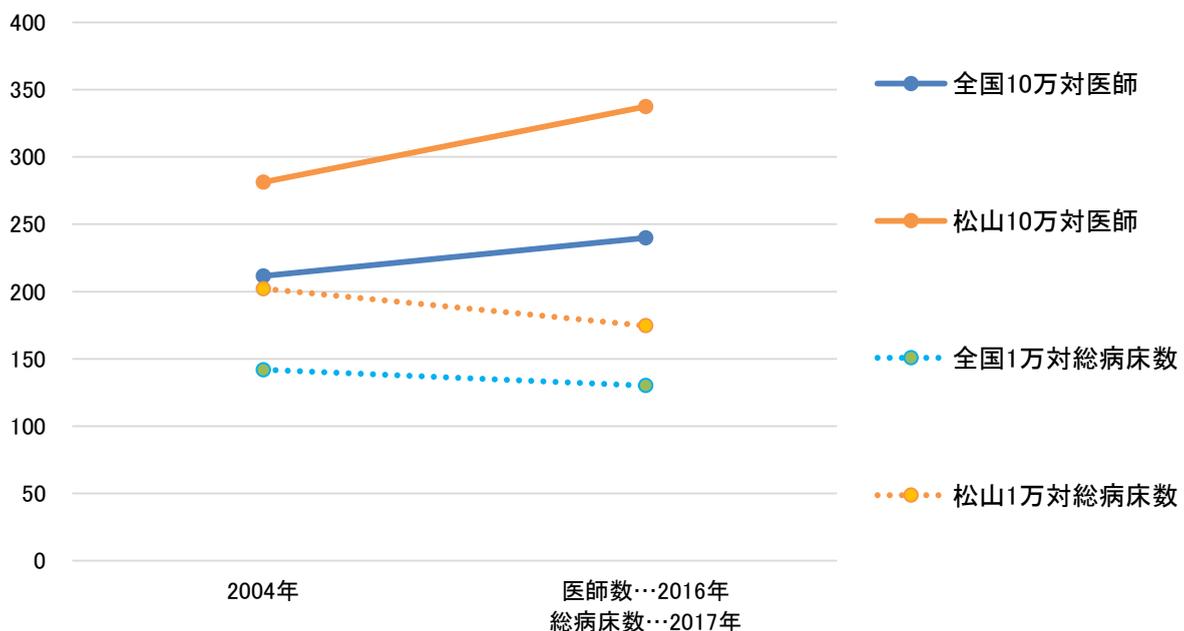
2004年の病院数が58(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2017年に52(人口10万人当たり8病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が531(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に598(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、67診療所が増加した。

2004年の総病床数が13,213床(人口1万人当たり202(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に11,280床(人口1万人当たり175(全国平均130)偏差値58)と、1,933床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

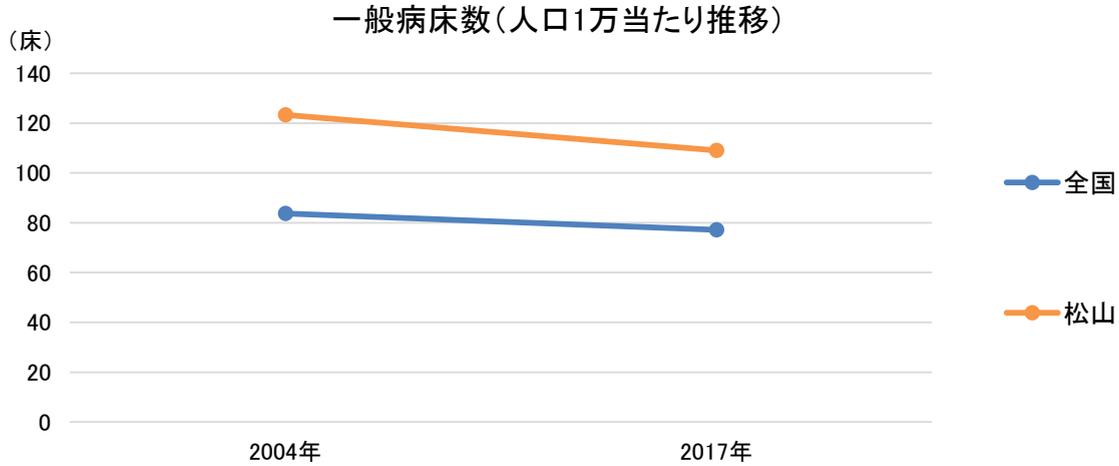
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,838人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2016年に2,180人(人口10万人当たり337人(全国平均240人)偏差値61)と、342人の増加、率にして19%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



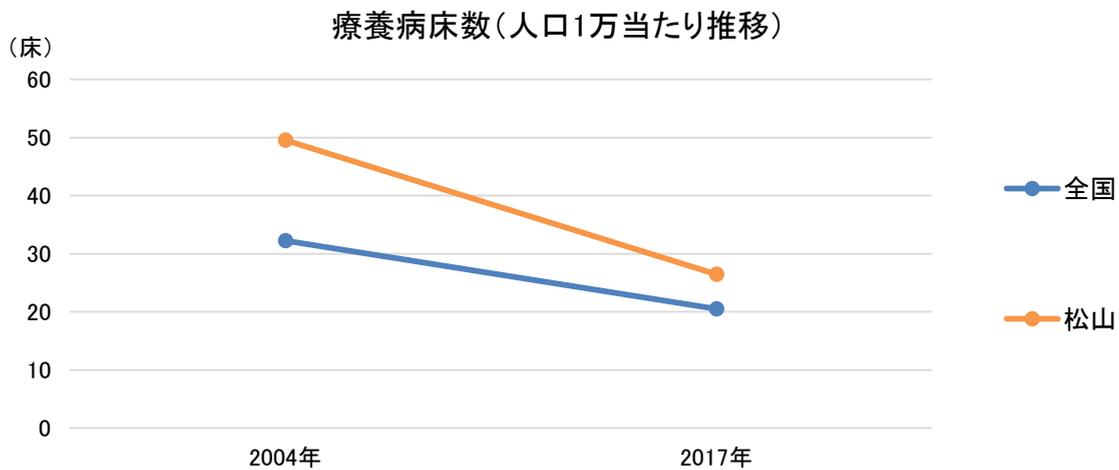
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8,058床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2017年に7,042床(人口1万人当たり109(全国平均77)偏差値62)と、1,016床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



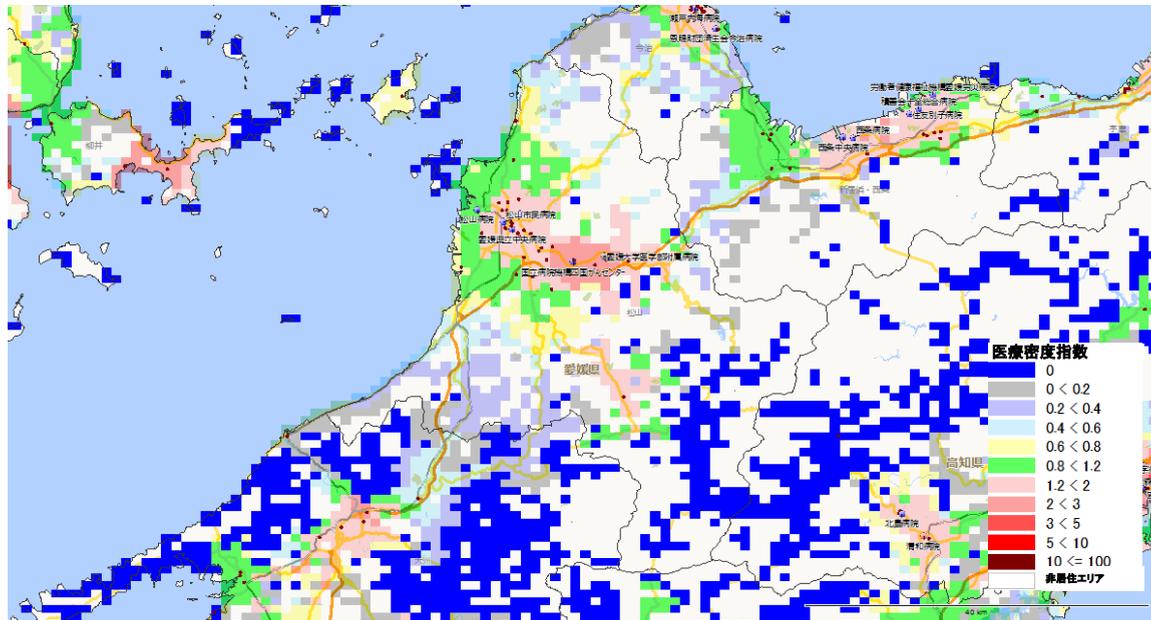
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,098床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2017年に2,262床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均20)偏差値55)と、836床の減少、率にして27%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



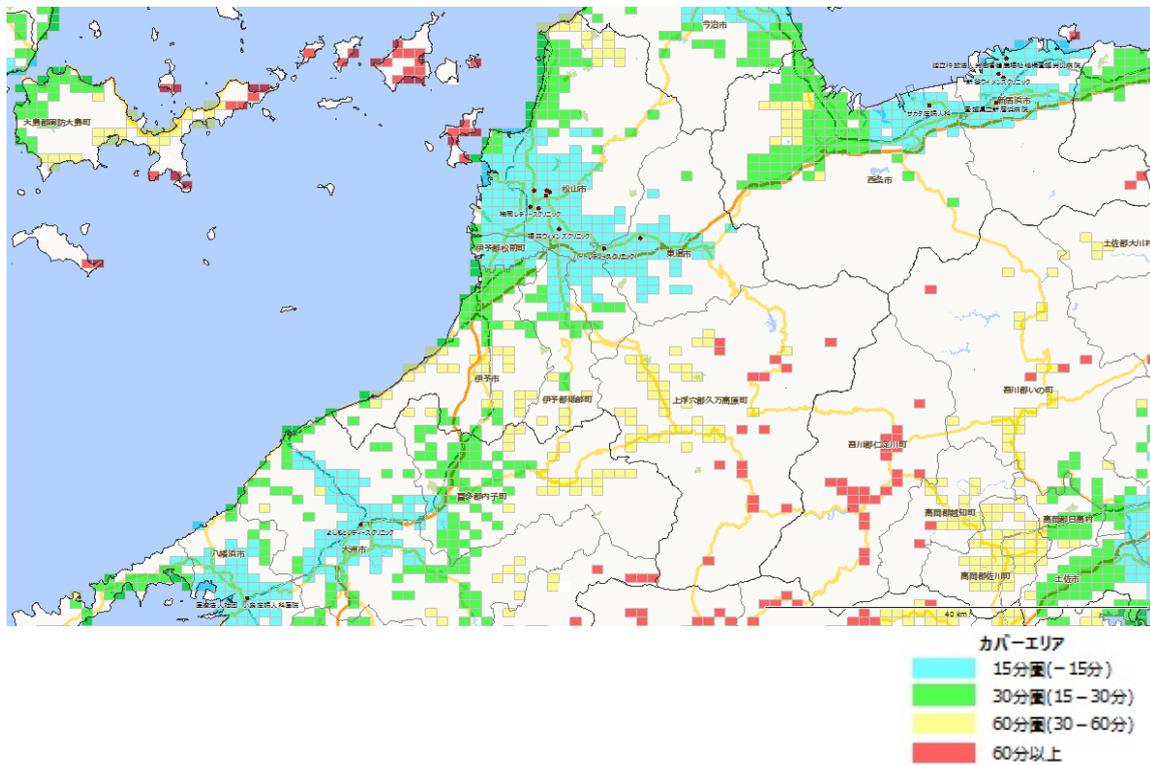
(松山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

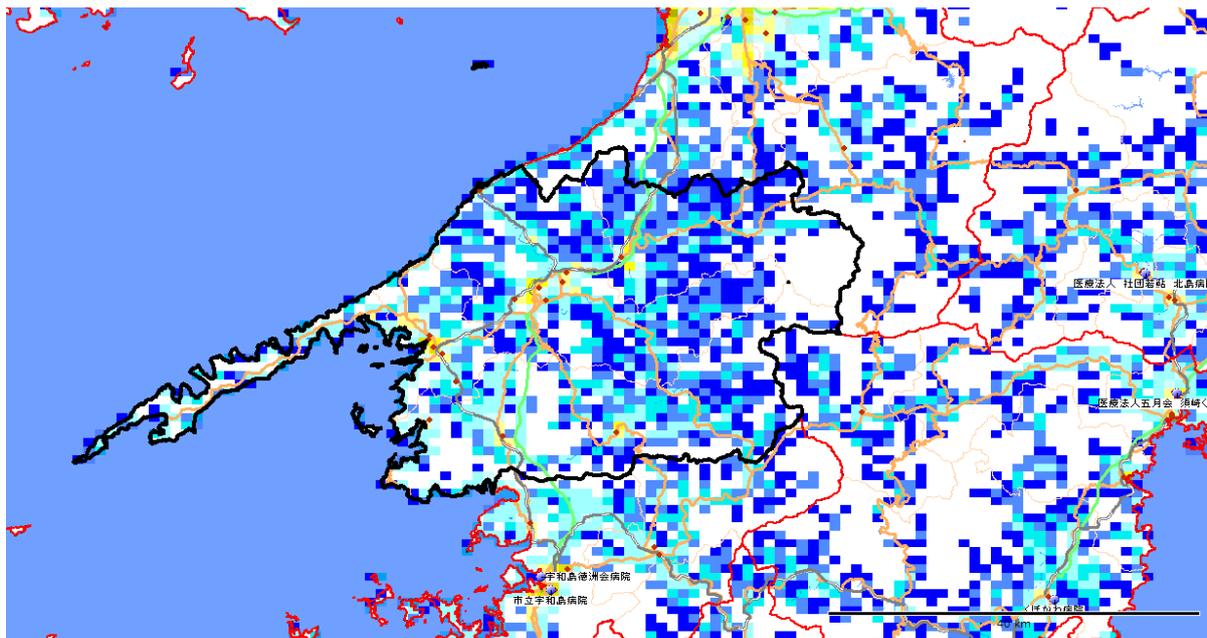


38-5. やわたはま おおず 八幡浜・大洲医療圏

構成市区町村 [八幡浜市](#) [大洲市](#) [西予市](#) [内子町](#)
[伊方町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(八幡浜・大洲医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 八幡浜・大洲(八幡浜市)は、総人口約144千人(2015年)、面積1,473km²、人口密度は98人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 八幡浜・大洲の総人口は2025年に120千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に87千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 八幡浜・大洲の一人当たり医療費(国保)は383千円(偏差値58)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 八幡浜・大洲の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が44(病院医師数40、診療所医師数58)と、総医師数と病院医師数は少ないが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は57と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。八幡浜・大洲には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は70で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 八幡浜・大洲の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,294人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,994床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,300床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,731人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム44、軽費ホーム52、グループホーム71、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、238人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(八幡浜・大洲医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

八幡浜・大洲医療圏の総人口は、2005年168,713人が、2015年に144,324人と14%減少し、2025年の人口が120,111人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

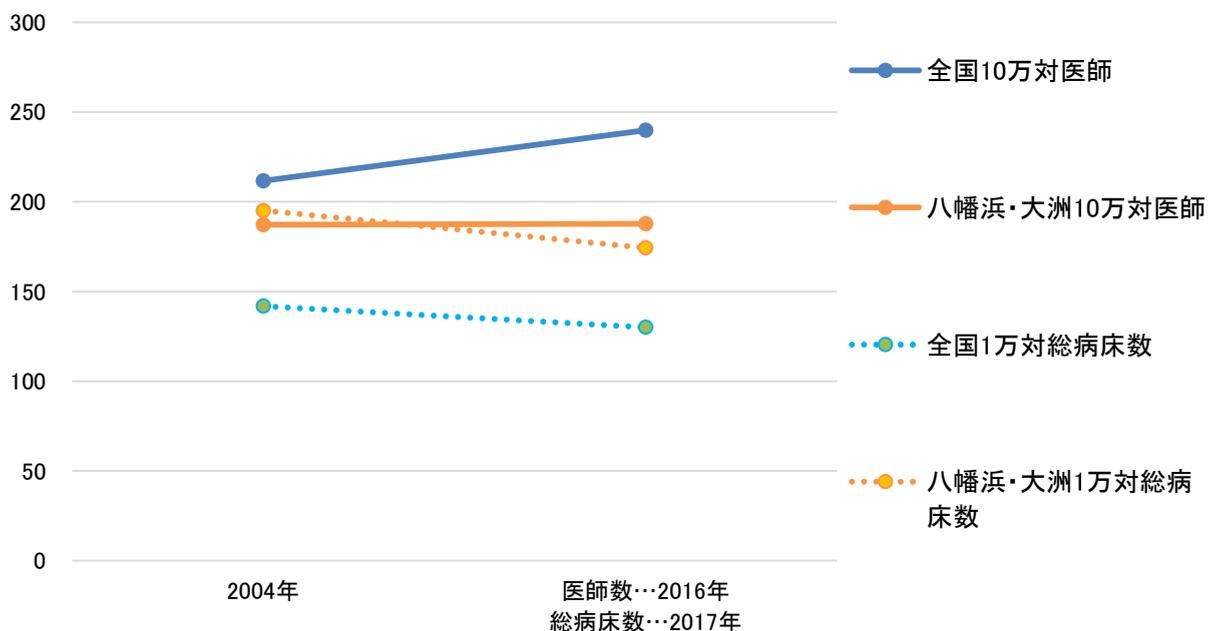
2004年の病院数が19(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に16(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、13年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が176(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2017年に171(人口10万人当たり118診療所(全国平均80)偏差値70)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,292床(人口1万人当たり195(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に2,516床(人口1万人当たり174(全国平均130)偏差値58)と、776床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

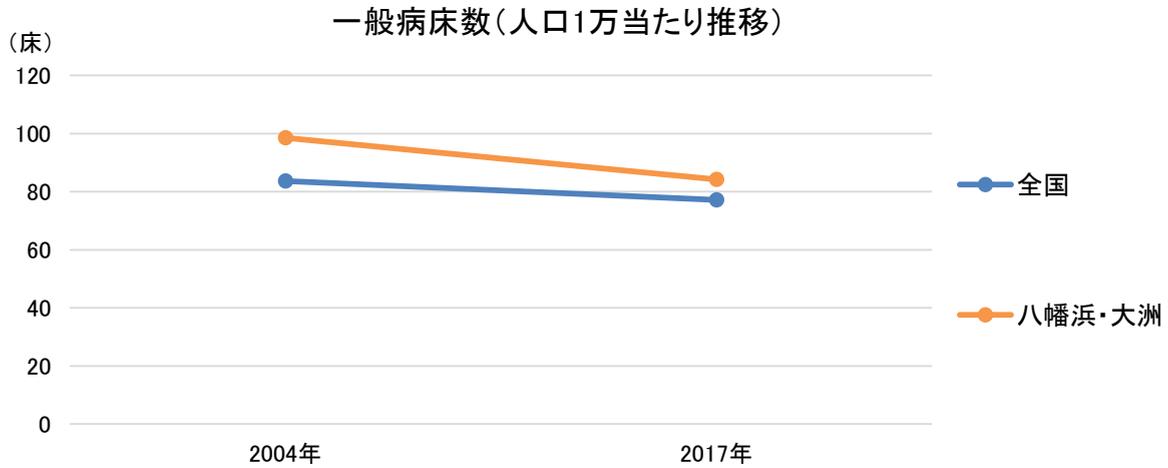
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が316人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に271人(人口10万人当たり188人(全国平均240人)偏差値44)と、45人の減少、率にして14%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



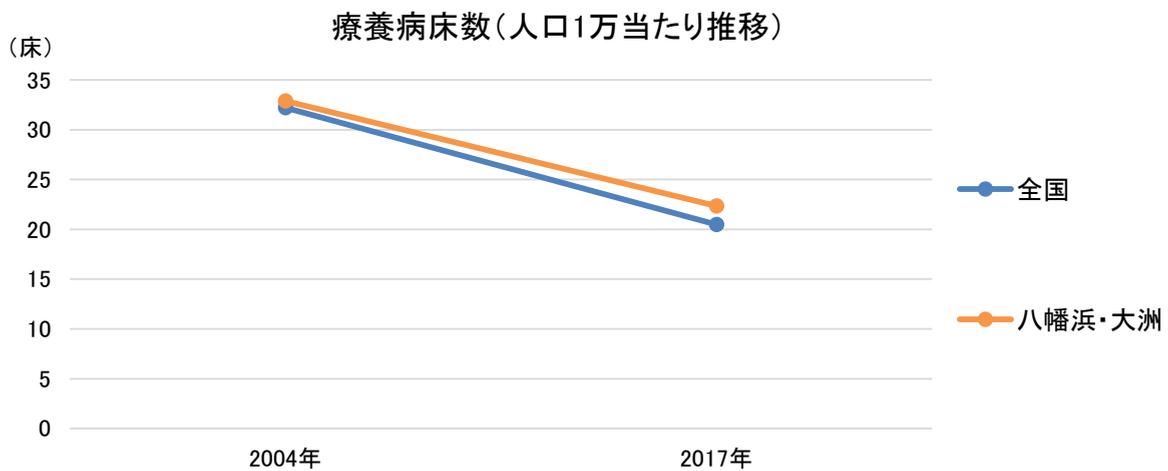
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,663床(人口1万人当たり99(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に1,215床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、448床の減少、率にして27%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



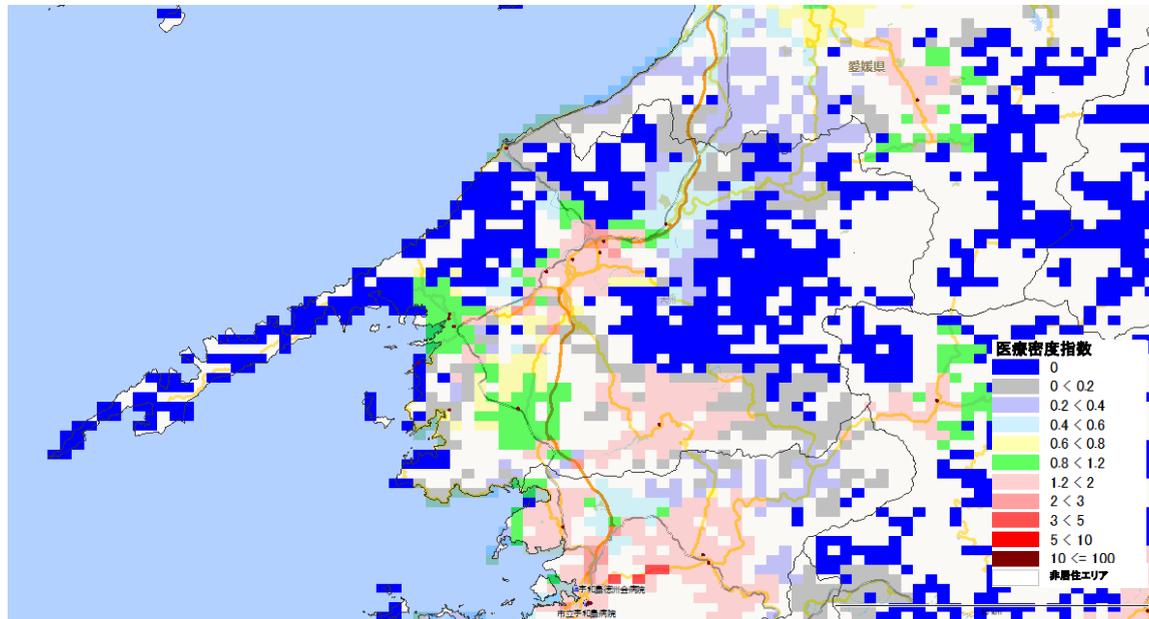
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が914床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に689床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値52)と、225床の減少、率にして25%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



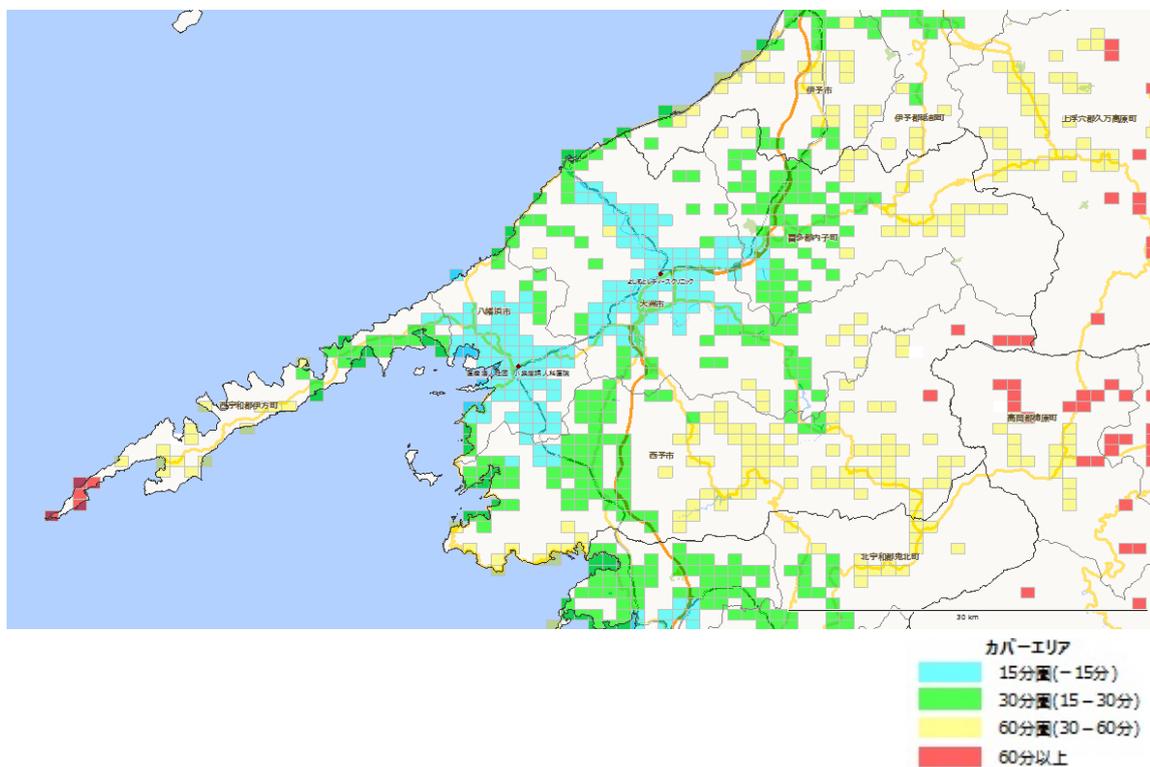
(八幡浜・大洲医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

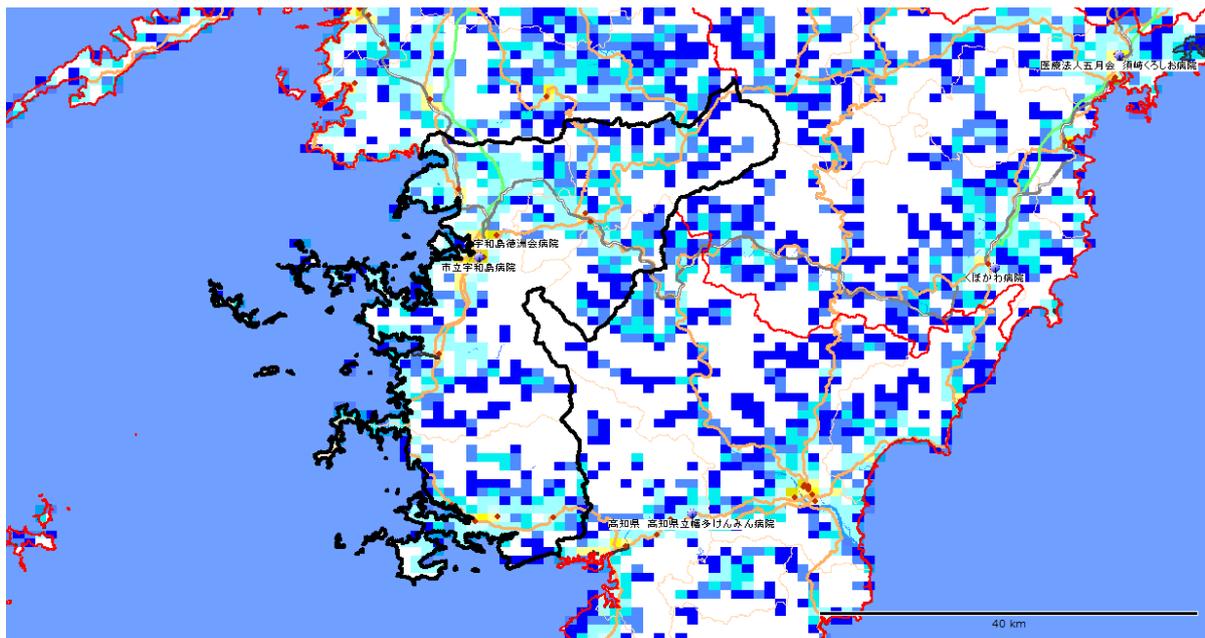


38-6. うわじま 宇和島医療圏

構成市区町村 [宇和島市](#) [松野町](#) [鬼北町](#) [愛南町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(宇和島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宇和島(宇和島市)は、総人口約114千人(2015年)、面積1,047km²、人口密度は109人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宇和島の総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に65千人へと減少する(2025年比-31%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の23千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宇和島の一人当たり医療費(国保)は338千円(偏差値48)、介護給付費は303千円(偏差値65)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宇和島の一人当たり急性期医療密度指数は1.57、一人当たり慢性期医療密度指数は1.25で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。宇和島には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立宇和島病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宇和島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,379人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,483床(偏差値52)、高齢者住宅等が896床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,919人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム55、サ高住53である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、478人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(宇和島医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宇和島医療圏の総人口は、2005年133,202人が、2015年に114,144人と14%減少し、2025年の人口が93,558人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

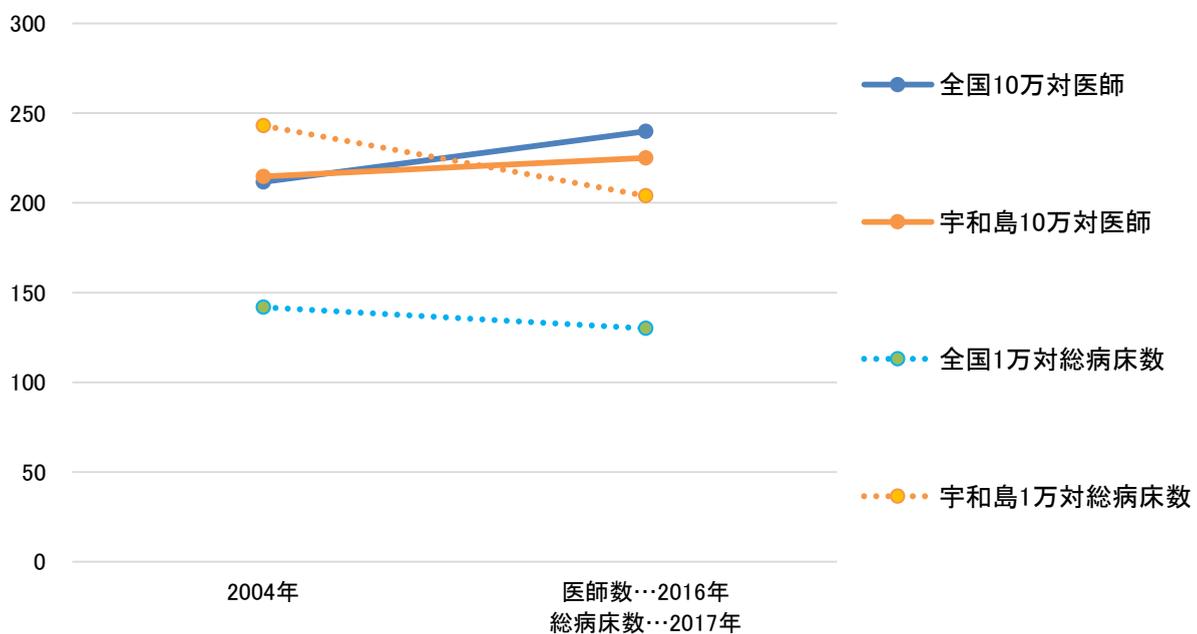
2004年の病院数が14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に12(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が136(人口10万人当たり102診療所(全国平均76)偏差値63)であったが、2017年に120(人口10万人当たり105診療所(全国平均80)偏差値63)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,237床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2017年に2,328床(人口1万人当たり204(全国平均130)偏差値64)と、909床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

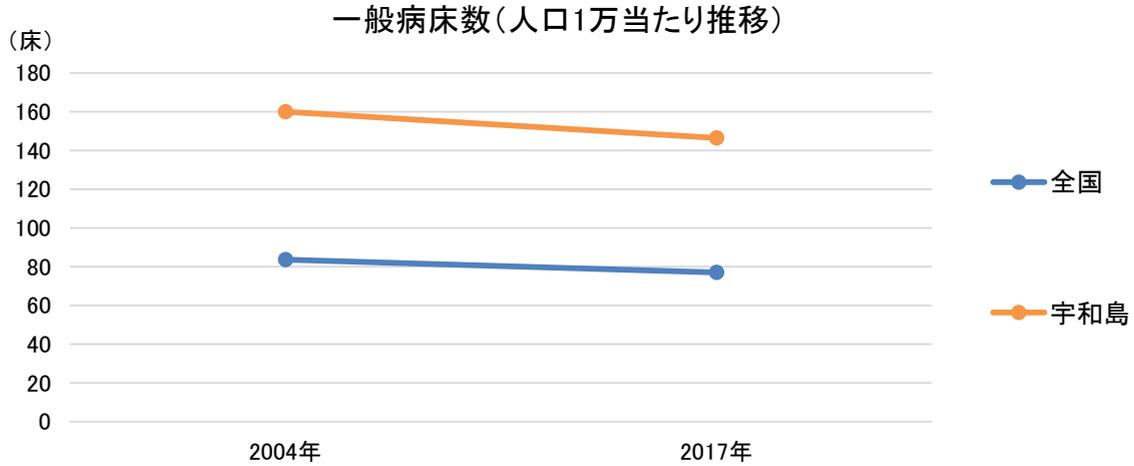
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が286人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2016年に257人(人口10万人当たり225人(全国平均240人)偏差値48)と、29人の減少、率にして10%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



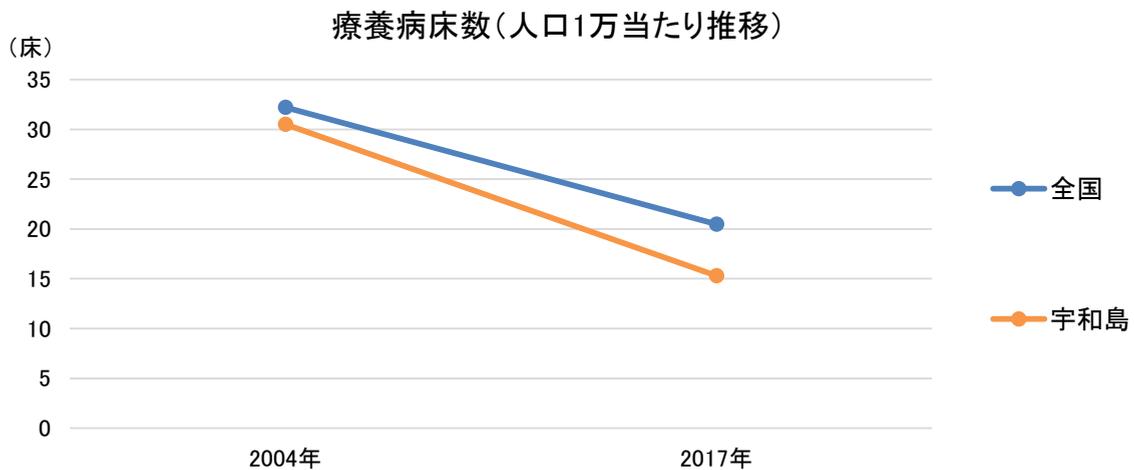
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,132床(人口1万人当たり160(全国平均84)偏差値77)であったが、2017年に1,671床(人口1万人当たり146(全国平均77)偏差値77)と、461床の減少、率にして22%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



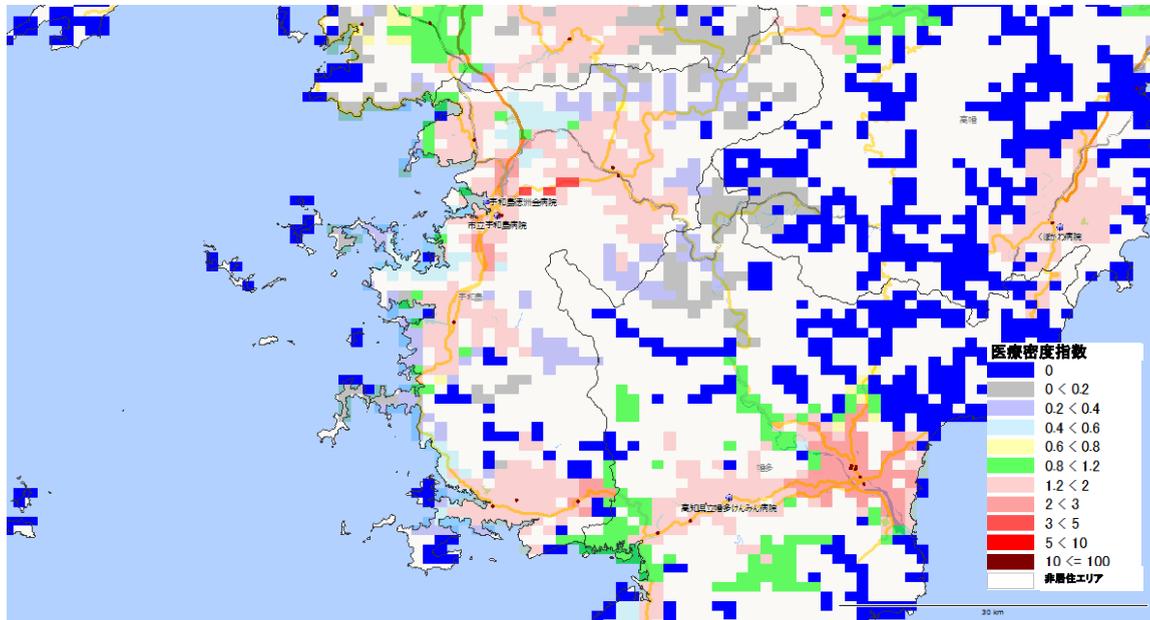
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が616床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に355床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、261床の減少、率にして42%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(宇和島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表38-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表38-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

